科目	名	解剖生理学				学年	1					
講館	币名	一戸 瑞枝		単位数	2	コマ数	15					
教科目標		本の構造と生理機能に B立つ知識を身につけ		、医	療ヤ	⊅栄∄	養などの現場					
	1	人体の構成										
	2	固体の調節機能と恒常	常性									
	3	消化器系										
	4	循環器系										
講	5	腎•尿路系										
нтэ	6	内分泌系1										
	7	内分泌系2										
義	8	神経•精神系1										
	9	神経•精神系2										
内	10	感覚器系と皮膚										
	11	乎吸器系										
_	12	血液と造血器										
容	13	運動器系										
	14	生殖器系										
	15	まとめと復習										
	16											
評価	方法	小テストと定期試験による										
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。	_								
評価	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。			単						
其	評 P 価 A	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。	L	- 平						
準	· (	D(60~69点):教科目標にお			•							
		F(59点以下または不合格):	教科目標を達成すること 	ができ	なか	った。						
幼		書籍名	著者名 —————				発行所					
参考図書教科書及が	人体(	の構造と生理機能	内田さえ・佐伯由香・原田	玲子	医菌	逐上	<b>占版</b>					
写書 図 型 及												
書び												

科目	名	基礎動物学 I				学年		1		
講館	币名	近藤 和久		単位数	2	コマ数		15		
教科目標	・実	験動物二級技術者試	験の学科試験の受	験玄	策	。試	験合格。			
	1	総論①動物実験と社会	会							
	2	総論②解剖と生理								
	3	総論③遺伝と育種								
	4	総論④繁殖								
講	5	総論5栄養と飼料								
нтэ	6	総論⑥飼育と衛生								
	7	総論⑦施設と環境								
義	8	実施した範囲の過去間	問演習と解答							
	9									
内	10									
	11									
<u>.</u>	12									
容	13									
	14									
	15									
	16									
評価	方法	基礎動物学Ⅱを終了した後、	定期試験							
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。							
評価	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成				単				
其	評 P 価 A	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。	L	#				
準	· (	D(60~69点):教科目標にお								
		F(59点以下または不合格):		ができ	なか	った。	)			
幼		書籍名	著者名				発行所			
参考図書教科書及が	実験動	動物の技術と応用 入門編/日本実	≅験動物協会編 ┏				アドスリー			
写書 図 型 及										
書分										

科目	名	基礎動物学実習 I				学年		1			
講師	币名	近藤 和久		単位数	1	コマ数		23			
教科目標	·実	験動物二級技術者試寫	験の実地試験の受	験対	·策	。試	験合格。				
	1	動物入荷、飼育管理、	個体識別、体重測	定							
	2	マウス保定、各種投与	(経口、腹腔、静脈	依内、	皮	下)					
	3	マウス性周期検査(採	取、塗抹、標本作業	製、銳	竟検	<b>(</b> )					
	4	マウス麻酔(三種混合	注射、イソフルラン吸ク	()							
講	5	マウス採血(尾静脈、	後大静脈)、解剖								
нтэ	6	ラット保定、各種投与の	(経口、腹腔、静脈)	内、原	女下	<del>-</del> ( -					
	7	ラット麻酔(三種混合)	主射、イソフルラン吸入	)							
義	8	ラット採血(頚静脈、腹	部大動脈)、解剖								
	9										
内	10										
	11										
	12										
容	13										
	14										
	15										
	16										
評価	方法	実技試験、実習態度									
		A(90点以上):教科目標を高い	い水準で達成している。	٦							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。			,,,					
其	評P	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。		単					
準	価 A )	D(60~69点):教科目標にお	いて最低限の水準に達し	ている	, )。						
		F(59点以下または不合格):	<b>教科目標を達成すること</b> が	ができ	なか	った。					
+/_		書籍名	著者名				発行所				
参教 参科	実験動	助物の技術と応用 入門編/日本実	験動物協会編				アドスリー				
参考図書教科書及が											
書及											

	<u>:018</u>	<u> 中度入学生 ハイオナクノロンー:</u>	子件	ン-	フノハノ	<u> </u>				
科目	目名	基礎動物学Ⅱ			学年	2				
講館	币名	近藤 和久	単位数	2	コマ数	15				
教育目	標									
•実験動	物関連	業界の即戦力となる技術者養成を目標とする。								
	1	各論 I マウスの説明								
	2	各論 Ⅱ ラットの説明								
	3	各論Ⅳその他齧歯類の説明								
	4	過去問各論マウス、ラット、その他齧歯類の演	習と解	<u>答</u>						
	5	総論の7章から9章								
講	6	総論過去問の演習と解答								
¥	7									
義	8									
内	9									
173	10									
<b> </b>   容	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									

評価	方法	基礎動物学Ⅱ	を終了した後、定期試験					
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。					
=π	評	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。					
評 価	価(	C(70~79点):	教科目標において一定の水準に達している。	単位認定				
価 基 準	G P	D(60~69点):	O(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
#	A	E:出席不足。	:出席不足。					
	)	F(59点以下):	F(59点以下):教科目標を達成することができなかった。					
		書籍名	著者名	発行所				
教 	実験動物	物の技術と応用 入	門編/日本実験動物協会編	アドスリー				
書								
教科書及び参考図書								
参								
図								
書								

科目	名	病原微生物学			<u> </u>	学年		2				
講館	币名	一戸 瑞枝		単位数	2 =	マ数		15				
教科目標		検動物技術者試験対策 よや感染症などについ		-				対				
	1	病原微生物の分類										
	2	大きさと感染経路										
	$\mathcal{S}$	感染症対策とモニタリ	ング									
	4	モニタリング検査										
講	5	ウィルス1										
нтт	6	ウィルス2										
	7	ウィルス3										
義	8	細菌1										
	9	細菌2										
内	10	細菌3										
	11	細菌4										
_	12	原虫										
容	13	ダニ										
	14	まとめと復習										
	15	定期試験対策										
	16											
評価	方法	小テストと定期試験による										
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。	]								
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。									
其	評P	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。		<u> </u>						
準	価 A )	D(60~69点):教科目標にお	いて最低限の水準に達し	ている	00							
		F(59点以下または不合格):	教科目標を達成すること	ができた	なかっ	た。						
<del>≱</del> h		書籍名	著者名			=	発行所					
参科	実験፤	動物の感染症と微生物モニタリング	/日本実験動物協会編 「			7	アドスリー					
参考図書なる												
書び												

科目	1名		J	<b>芯用動物学</b>			学年	2
講館	币名	小山内 努			単位数	3	コマ数	23
教科	目標							
実験動 <sup>。</sup> て評価・		者試験対策として、マウ.	ス・ラ	ットの特徴や飼育・繁殖法	などにつ	いて学	ぶ。試験	によっ
	1	実験動物技術者試	験 糸	総論の復習とまとめ				
	2	実験動物技術者試	験名	S論 マウスの復習と	まとめ			
	3	実験動物技術者 名	<b>予論</b>	ラットの復習とまとめ				
	4	実験動物技術者 名	<b>予論</b>	モルモットの復習とま	とめ			
講	5	実験動物技術者 名	<b>予論</b>	その他のげっ歯類の	復習とま	とめ		
研	6							
義	7							
72	8							
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
評価	方法	試験と出席による						
				い水準で達成している。				
評価	新 G	B(80~89点):教科目标					立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A			いて一定の水準に達して		1	工心化	
準	( )			いて最低限の水準に達し				
		F(59点以下または不合	`格):	教科目標を達成することが	ができなた	かった。		
₩		書籍名		著者名			発行所	
参科	実験動物	の技術と応用 入門編/日	本実態	<b>食動物協会編</b>			アドスリー	
参考図書 教科書及び								
書び								

科目	科目名  動物細胞培養実習2   学年										
講師	币名	伊藤 透		単位数	3	コマ数	23				
教科	目標										
細胞の	相互作员	用を学ぶモデルとして、st	免疫系を担う細胞の働きを学ぶ	。試験に	よって	評価する	0				
	1	免疫とは									
	2	抗原と抗体									
,	3	自然免疫									
,	4	細胞性免疫									
	5	液性免疫									
,	6	サイトカイン									
講	7										
DI-3	8	アレルギー									
義	9	がんと移植									
-,~	10	10 自己免疫疾患									
内	11	免疫不全症									
	12	免疫学的測定法									
容	13	抗体の作成法									
	14		Eノクローナル抗体								
,	15	まとめ									
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法	レポート、授業態度 他	,								
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。								
評価	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		;;; /-						
評 価 基 準	評Ρ	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。							
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。									
+/_		書籍名	著者名			発行所					
参考図書											
方 書 図 ェ											
書び											

	<u>:018</u> :	年度人学生 ハイオナクノロシー	<u>子件</u>	ン.	フハス	<u>.                                    </u>					
科目	1名	基礎動物学実習Ⅱ			学年	2					
講自	币名	近藤 和久	単位数	2	コマ数	45					
教育目	標										
・実験動	∖物関連	業界の即戦力となる技術者養成を目標とする。									
	1	動物入荷、飼育管理、個体識別、体重測定									
	2										
	3	マウス性周期検査(採取、塗抹、標本作製、鏡	検)								
	4	マウス麻酔(三種混合注射、イソフルラン吸入)									
	5	マウス採血(尾静脈、後大静脈)、解剖・剖検									
講	6	マウス精管結紮、縫合									
義	7	ラット保定、各種投与(経口、腹腔、静脈内、皮下)									
我	8	ラット性周期検査(採取、塗抹、標本作製、鏡検)、交配									
内	9	ラット麻酔(三種混合注射、イソフルラン吸入)									
1 1	10	ラット採血(頚静脈、腹部大動脈)、解剖・剖検	、臓器	重量測	定						
容	11	ラット帝王切開、胎児摘出、標本処理									
	12	マウスを用いた糖負荷試験(血糖値測定)									
	13										
	14										
	15										
	16										

	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。 <u></u>			
評	評価	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。	₩ <i>(</i> 4 = 3 ¢)		
価		C(70~79点):	教科目標において一定の水準に達している。	単位認定		
基 準	G P	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。				
<del></del>	A	E:出席不足。				
	$\overline{}$	F(59点以下):	<b>教科目標を達成することができなかった。</b>			
		書籍名	著者名	発行所		
教 科	実験動物	物の技術と応用 入	門編/日本実験動物協会編	アドスリー		
教科書 及						
及 び						
参						
参考図書						
書						

科目	名	動物細胞培養実習	I			学年	2				
講師	市名	伊藤 透		単位数	2	コマ数	45				
教科	目標										
動物細	胞培養の	の基礎を学ぶ									
	1	細胞培養についる	て ガイダンス								
	2	器具の滅菌									
	3	培地の作成									
	4	凍結細胞の培養									
	5	細胞の観察									
	6	6 細胞数の測定									
=#±	7	継代培養									
講	8	細胞の凍結保存									
義	9	浮遊細胞の培養									
我	10	接着細胞の培養									
内	11										
ניו	12										
容	13										
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。								
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		;;; /-	_ <del> </del>					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「	単位	立認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。							
		F(59点以下または不合	ì格):教科目標を達成することが	ができなた	かった。						
±/-		書籍名	著者名			発行所					
参科											
参考図書											
書び											

科目	1名	動物細胞培養実習	2			学年	2			
講師	币名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23			
	目標 究に必	要な動物細胞培養を用し	いた測定法を学ぶ							
	1	細胞毒性試験								
	2	MTTアッセイ								
	3	アポトーシスの検	:出							
,	4									
	5									
	6									
講	7									
研	8	8								
義	9									
720	10									
内	11									
	12									
容	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
,	19									
==:/=	20									
計価	方法	レポート、授業態度他								
=ar			票を高い水準で達成している。							
価	( 新 G 評 P		票達成において優れている。 票において一定の水準に達して	-1\Z	単位	立認定				
評 価 基 準	価 A		票において最低限の水準に達し 票において最低限の水準に達し							
	)		: :格):教科目標を達成すること		N->t-					
		書籍名	著者名	// CE/6/	7. 21.0	発行所				
参教		E TH L	нин			76   11/7				
考科										
参考図書 数科書及び										
υ l										

科目	1名	遺伝子実習				学年	2		
講師	币名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23		
教科	目標								
卒業研:	究に必要	要な遺伝子工学の技術を	を学ぶ						
	1	形質転換							
	2	PCR							
	3	制限酵素処理と	ライゲーション						
	4	アガロース電気流	k動						
	5	ライブラリーの作	成						
	6								
講	7								
研	8								
義	9	9							
7%	10	10							
内	11								
,	12								
容	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	へ 新 G		票達成において優れている。		;; <i>t</i>	+ <del>= 1</del>			
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「	里1	拉認定			
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	.ている <u>。</u>					
		F(59点以下または不合	1格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。				
₩		書籍名	著者名			発行所			
参科									
図書									
参 考 書 図 ま び									

科目	目名				学年	2
講郎	师名	近藤 和久	単位数	1	コマ数	23
教科目標		験動物二級技術者試験の実地試験の受 &と習。試験合格。毒性試験胎児標本作成	験玄	· l策	- کال <sup>-</sup>	ての実践形式
	1	動物入荷、飼育管理、個体識別、体重測	定_			
	2	マウス保定、経口投与				
	3	投与物質の調製、高脂肪食の摂餌管理				
	4	マウス麻酔(イソフルラン吸入)				
講	5	マウス尾静脈採血、血糖値測定				
H.,	6	マウス解剖、内臓脂肪の定量的摘出・重	量測	定		
<u></u>	7	ラット胎児骨格標本染色				
義	8	ラット胎児骨格標本検査				
	9	ハムスターの保定、飼育管理				
内	10					
	11					
-	12					
容	13					
	14					
	15					
	16					
評価	方法	実習実施、実習態度、実験結果				
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		<u></u>		
評価	初 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。		Ļſ	単	
世	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達して		L	里	
準	<u> </u>	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達し				
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することだ	ができ	なか	った。	
粉	<u> </u>	書籍名	$\longrightarrow$			発行所
参考図書教科書及が	実験重	動物の技術と応用 入門編/日本実験動物協会編 				アドスリー
図書 及	<u> </u>					
晋"						

科目	名	応用動物学実習 Ⅱ				学年	2
講館	币名	近藤 和久		単位数	1	コマ数	23
教科目標		験動物二級技術者試 と習。試験合格。さらに					ての実践形式
	1	生殖工学全般の概説					
	2	♂マウス精管結紮					
	3	ガラスキャピラリーのイ	作製				
	4	精子採取、媒精					
講	5	우マウス過排卵処理(	(ホルモン投与)				
нт	6	卵子採取(卵管膨大部	『からの方法、卵管	灌流	:1:	よる	方法)
	7	卵管内受精卵移植					
義	8	子宮内受精卵移植					
	9	精子凍結保存、精子關	 強解				
内	10	受精卵凍結、受精卵層	 独解				
' '	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
評価	方法	実習実施、実習態度、実験結	果				
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。	٦			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。		_	,,,	
其	評P	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。	L	単	
準	価 A )	D(60~69点):教科目標にお	いて最低限の水準に達し	ていま	<b>)</b>		
		F(59点以下または不合格):	教科目標を達成することが	ができ	なか	った。	
<del>1</del> /L		書籍名	著者名				発行所
参科	実験፤	助物の技術と応用 入門編/日本実	ミ験動物協会編 				アドスリー
参考図書教科書及が							
書及							

科E	目名					学年	2
講館	师名	近藤 和久		単位数	1	コマ数	23
教科目標		験動物二級技術者試験 €習。試験合格。さらに <sup>-</sup>					
	1	実験動物を取り扱う企業	業におけるインター	<u>ーンシ</u>	ノツ	プ_	
	2						
	3						
	4						
講	5						
H	6						
<u> </u>	7						
義	8						
	9						
内	10						
	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
評価	方法	実習実施、実習態度、実験結果	 果				
		A(90点以上):教科目標を高い	ヽ水準で達成している。 	]			
評価	初 G	B(80~89点):教科目標達成に				単	
並	評 P	C(70~79点):教科目標におい			<u>L</u>	牛	
準		D(60~69点):教科目標におい					
		F(59点以下または不合格):教		ができ	なか	った。	
数	<u> </u>	書籍名	著者名				発行所
参考図書教科書及	実験重	動物の技術と応用 入門編/日本実駅 	<u></u> ⊛動物協会編 ──────				アドスリー
参考図書が科書及が	<u> </u>						
書が							

科目	1名	講読演習Ⅲ				学年	3
講的	币名	担任		単位数	2	コマ数	30
教科	目標						
	ら社会ノ 平価する		たや、社会人としての振る舞いを	身につけ	る。レ <del>7</del>	ポートとĿ	出席に
	1	就職試験対策					
	2	社会人になるため	りの準備				
	3						
	4						
	5						
	6						
=#±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
r a	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		34 /		
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することだ	ができなか	いった。		
+/∟		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書 図 <sub>元</sub>							
参考図書 教科書及び							

科目	科目名   バイオテクノロジー演習 I					3	
講郎	币名	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	30
教科	目標						
専門分!	野に関す	する最新の論文を調べ軸	☆読する。レポート及びロ頭試問	引により評	呼価する	)	
	1	論文輪読					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
<del>=</del> ±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法						
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。		.,,,	L===	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。		
+/_		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 が表現まして							
書び							

科目	目名 就職講座 Ⅱ 学生					3
講館	币名	木下 有希		単位数 <b>1</b>	コマ数	8
教科目標	社会 する	会人として必要なビジネ る。	スマナーを身に付	ける。	試験し	こよって評価
	1	挨拶と電話応対				
	2	他人とのコミュニケー	ション			
	3	社会人としての礼儀				
	4	尊敬語の使い方と実践	<b>浅</b>			
講	5					
	6					
<u> </u>	7					
義	8					
	9					
内	10					
	11					
容	12					
台	13					
	14					
	15					
	16					
評価	方法	試験と出席による				
l		A(90点以上):教科目標を高				
評価	籾 G	B(80~89点):教科目標達成			単	
	評P 価A	C(70~79点):教科目標にお			'	
华	· ·	D(60~69点):教科目標にお			<u> </u>	
		F(59点以下または不合格):		か じざな7 	いつに。	
	72	書籍名 	著者名	21	つわ	発行所 
そ		- / フョンペイルチック快ルチイベト		07	717	انس دا –
の						
一他						

科目	1名	バイオテクノロジー	持論 I			学年	3
講的	币名	担任		単位数	1	コマ数	8
	目標 動に向い	ナて、国語・数学などの	基礎学力向上を目指す。レポー	トと出席	によって	で評価す	る
	1	就職活動に必要	な基礎学力をつけるため	かに問	題集等	手を用	いる
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	レポート審査による					
			票を高い水準で達成している。				
評価	介 新 G		票達成において優れている。 		当代	立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して		+1	ᅩᇝᇨ	
準	· ·		票において最低限の水準に達し				
			↑格):教科目標を達成することだ	バできなだ	かつた。		
、教		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
図書							
≝び							

科目	1名	就職講座Ⅲ			学年	3
講自	币名	野口 明彦		単位数	2 コマ数	15
教科目標		戦活動に向けて、国語 こって評価する。	・数学などの基礎学	≠力向.	上を目	指す。試験
	1	SPI3の問題解説と練	習問題			
	2	CABーGABの問題解	説と練習問題			
	თ	作文及び小論文の書	き方			
	4	社会人としての心構え	-			
講	5	社会人に必要な一般	教養			
HIJ	6					
	7					
義	8					
	9					
内	10					
	11					
	12					
容	13					
	14					
	15					
	16					
評価	方法	試験と出席による				
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。	]		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。		;; <b>4</b>	
其	評 P	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。	単	
準	価 A )	D(60~69点):教科目標にお	いて最低限の水準に達し	ている。	)	
		F(59点以下または不合格):	教科目標を達成すること	ができな	かった。	
		書籍名 	著者名			発行所
2		ル式 一般常識問題集			〈岡書	
その	就活	生1000人に聞いた これが出る!SPI		剣	<b>f星出</b>	版社
他						

科目	科目名 /バイオテクノロジー特論 Ⅱ   学年				3		
講郎	币名	担任		単位数	2	コマ数	15
教科	目標						
社会人	として必	要なビジネスマナーを身	身に付ける。レポートと出席によ	って評価	する。		
	1	就職活動に必要	なマナー等を実践的に具	身につり	ける		
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
= <del>#</del>	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
173	12						
容	13						
П	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート審査による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			L====	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。		
111		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
考書 図 F							
書び							

_<2	<u>:018</u> :	年度人字生 バイオテクノロジー	子科	ン.	<u> </u>	<u> </u>				
科目	目名	特許法			学年	3				
講自	币名	津幡笑	単位数	2	コマ数	15				
教科目	標									
「知的財	「知的財産」に関する基本的な知識を身につけ、社会に出てから知的財産権を保護・活用できるようになる									
	1	知的財産権法入門(知A)								
	2	産業財産権導入(産A)								
	3	特許法1(特A)								
	4	特許法2(特B)								
-#	5	寺許法3(特B)								
講	6	寺許法4(特C)								
¥	7	意匠法1(意A)								
義	8	意匠法2(意B)								
内	9	商標法1(商A)								
173	10	商標法2(商B)								
容	11	種苗法(植B)								
	12	不正競争防止法(不C)								
	13	著作権法1(著B)								
	14	著作権法2(著C)								
	15	知的財産調査·問題演習								
	16									

評価	方法	小テスト、期末・	テストの合計	
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。 ¬	
=π	評価	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。	24 /L = 17 ch
評価	$\overline{}$	C(70~79点):	教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
基準	G P	D(60~69点):	教科目標において最低限の水準に達している。	)
+	A	E:出席不足。		
	$\sim$	F(59点以下):	教科目標を達成することができなかった。	
100		書籍名	著者名	発行所
┃ 教 ┃ 科	知的!	財産法入門	小泉直樹	岩波書店
書				
教科書及び参考図書				
参				
図				
書				
I				

科目	1名	バイオテクノロジーダ	<b>洔論Ⅲ</b>			学年	3				
講的	币名	名 卒業研究担当 単位数 2									
教科	目標	標									
特許法 て評価 <sup>·</sup>		を習得し、研究開発や企	*業活動において活用できる素類	地を培う。	レポー	トと出席	によっ				
	1	卒業研究の知的	財産権に関して調べ考	察する							
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
= <del>#</del>	<sub>#</sub> 7										
講	8										
義	9										
我	10										
内	11										
ניו	12										
容	13										
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法	レポートによる									
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。								
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		.,,,	. = =					
評価基準	評P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。「	- 単位	立認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	ている。							
		F(59点以下または不合	☆格):教科目標を達成すること	ができなか	かった。						
14		書籍名	著者名			発行所					
参教科											
考書 図 3											
参考図書 教科書及び											

<u>&lt;2</u>	<u> 2018:</u>	年度入学生	バイ	<u>オテク</u>	ノロシ	<u> </u>	<u>学科</u>	シ	ラバス	<u>`&gt;</u>
科目名 国語表現									学年	3
講自	币名	津幡笑					単位数	2	コマ数	15
教科目	標									
	也の授業 合格す	É、就職活動などで必 る。	多要となる正し	<b>い日本語</b>	の文章の	書きた	を身につ	ける。ヒ	ジネス文	書検
	1	表記技能・	総合・用	]字						
	2	表記技能•	用字							
	3	表記技能•	用語·書	式						
	4	表記技能•	書式•応	用						
=++-	5	表現技能・	正確なこ	文章						
講	6	表現技能•	わかりち	うすい文	章					
<u>+</u>	7	表現技能•	礼儀正l	しい文章	重•応用	]				
義	8	実務技能•	社内文	<u>書</u>						
内	9	実務技能•	社外文	<u>*</u>						
173	10	実務技能•	文書の	取り扱し	1					
容	11	実務技能•	社内文	書•社外	文書》	寅習				
	12	過去問演習								
	13									
	14									
	15									

評価	方法	検定合格または	は定期試験					
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。 -					
≡ <del>u</del>	評価	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。	* /L====				
評 価	$\overline{}$	C(70~79点):	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。 単位認定					
基準	G D(60~69点): 教科目標において最低限の水準に達している。							
	A	A E:出席不足。						
	$\sim$	F(59点以下):	<b>教科目標を達成することができなかった。</b>					
101		書籍名	著者名	発行所				
】 教 】 科	ごジネス	文書検定受験ガイト	実務技能検定協会	早稲田教育出版				
書								
教科書及び参考図書								
参								
図								
書								
I								

科目名		バイオテクノロジー4	<b>持論Ⅳ</b>			学年	3		
講郎	币名	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	15		
教科	目標								
文書作	成の技行	析を学ぶ。レポートと出り	常によって評価する。						
	1	卒業研究をまとめ	って抄録、ポスター、論文	ての作品	ずを 行	īう			
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
<del>=</del> #±	7								
講	8	8							
義	9								
我	10								
内	11								
17 3	12								
容	13								
п	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
評価	方法	論文審査による							
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			L===			
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定			
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。					
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなか	かった。				
+/-		書籍名	著者名			発行所			
参科									
参考図書 教科書及び									
書び									

- く2018年度入学生 ハイオナグノロン一学科 ンプハスク							
科目	目名	統計処理				学年	3
講自	币名	波多野 幸平		単位数	2	コマ数	15
教科	目標						
実験デ-	ータの処	理に関する統計的な方法	を身につける。試験によって評価す	<sup>-</sup> る。			
	1	EXCELの基礎					
	2	基本統計量を統	計関数				
	3	グラフ化機能とク	ロス集計				
	4	分析ツールの利用					
講	5	推定					
	6	平均値に関する権	食定:母平均の検定				
義	7						
	8	分散に関する検索	宦				
内	9	分割表に関する	<b></b>				
	10	分散分析					
容	11	まとめ					
	12	練習問題					
	13						
	14						
	15						
評価	方法	定期試験					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			. ==	
評価基準	評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
بد <u>د</u>		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び	バイオ統	計解析 IT実習テキスト			つちゃ	書店	
考言 図 記							
書なび							

	<u> 2010</u>	十尺八十工	ハイオーソフロンー	<u> 于作</u>	<u> </u>	<u>// \/</u>	
	目名	バイオテクノロジー				学年	3
講館	<b>师名</b>	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	15
	·目標 一タの処	<b>処理に関する統計的な</b> 方	う法を身につける。レポートと出	席によっ <sup>・</sup>	て評価で	する。	
	1	卒業研究のデー	 タ処理を行う				
	2	1 213.712	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	論文審査による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,	. = 77 - 44	
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	里1	立認定	
準	│価 A │  ∵	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成すること	ができなか	かった。		
+/∟		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
考書 図 12							
書び							

科目	目名	生命工学特論				学年	3	
講自	師名	伊藤 透		単位数	4	コマ数	30	
教科	目標							
		理。動植物、微生物のバ バイオ技術認定試験の合	ヾイオテクノロジーに関する高度 ↑格を目指す	な知識を 	·学ぶ。 	試験によ 	いて評	
	1	核酸・タンパク質						
	2	安全管理						
	3	バイオ機器						
	4	微生物バイオテク						
	5	動物バイオテクノ	ロジー					
	6	植物バイオテクノ	ロジー					
<del>=#</del>	7	試験対策						
講	8	模擬試験						
義	9	9						
找	10	10						
内	11							
17.3	12							
容	13							
ı	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
評価	方法	レポート、授業態度 他	]					
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。					
評	← 新 G	B(80~89点):教科目標	漂達成において優れている。			<u>. =a</u> —	_	
評価基準	評P	C(70~79点):教科目标	標において一定の水準に達して	いる。	- 単位	立認定		
準	│価 A │  ∵	D(60~69点):教科目標	票において最低限の水準に達し	、ている。				
		F(59点以下または不合	合格):教科目標を達成することだ	ができなが	かった。			
<b>≯</b> / <sub>7</sub>		書籍名	著者名			発行所	_	
参考図書 教科書及び								
与 図 型								
書び								
1								

科目	1名	バイオテクノロジーギ	<b>持論Ⅵ</b>			学年	3
講自	币名	卒業研究担当		単位数	4	コマ数	30
教科	目標						
		ヽて考案した製品のプレ 平価する。	ゼンテーションを行い企業から	の評価を	·受ける	。プレゼ	ンテー
	1	卒業研究として地	は域資源を材料に実験を	行う			
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	プレゼンテーション審査	こによる				
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。			L=37.45	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	î格):教科目標を達成すること	ができな	かった。		
+/∟		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 教科書及び							
書び							

科目	3名	<b>人</b>				字年	3
講的	币名	専任教員		単位数	1	コマ数	15
教科	目標						
卒業研! 学ぶ	究テー <sup>、</sup> 	てや自分の興味のある句	頁域の論文を調べ発表すること	によって請	倫文検	素の仕方	などを
	1	興味のある領域の					
	2	調べた文献の内容	容を発表する				
	3						
	4						
	5						
	6						
= 華	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
ı	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート 授業態度					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		257 1		
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することが	ができなた	いった。		
4/1		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
考書 図☆							
書なり							
-							

	<u>-010</u>	<u> </u>		<u> </u>		// \/	· /
科目	1名	バイオテクノロジージ	寅習 Ⅱ			学年	3
講的	市名	卒業研究担当		単位数	1	コマ数	15
教科 専門分		する最新の論文を調べ	侖読する。レポート及びロ頭試♬	当により言	平価する	 5.	
	1	論文輪読					
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法						
			票を高い水準で達成している。	$\overline{}$			
評 価	新 G		票達成において優れている。	7.7	単位	立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して			_ 4.0.7 _	
华	)		票において最低限の水準に達し		h - t-		
		書籍名	ì格)∶教科目標を達成すること; ────────────────────────────────────	かできなが	かつに。		
<sub>会</sub> 教		<b>音</b> 稍 <b>石</b>	著者名			発行所	
タ 考 者							
参考図書が							
昔び							

科目	目名	免疫化学実習				学年	2
講自	师名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23
教科	·目標						
卒業研	究に必要	要な免疫化学の技術を	学ぶ				
	1	抗血清の作成					
	2	IgGの精製					
	3	標識抗体の作成					
	4	オクタロニー法					
	5	ウェスタンブロップ	ティング				
	6	ELISA法					
講	7	· ·					
中	8						
義	9						
我	10						
内	11						
r <b>,</b>	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	]				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			_ === -	
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A ・	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。		
+/∟		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 教科書及び							
書び							

科目	3名	ハイオナクノロシー	美省			字年	3
講郎							23
教科	目標						
タンパク	質など	の生体構成成分を利用	した化学実験法を学ぶ。レポー	トと出席に	こよって	で評価す	る。
	1	卒業研究に必要	な実験手法を学ぶ				
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
<del>=</del> ±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	論文審査による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	L=7,4	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	.ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなか	かった。		
		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 教科書及び							
書なり							
•							

科目	科目名 卒業実習 I -A					学年	3
講郎	币名	専任教員	単位数	5	コマ数	113	
教科	目標						
研究テ-	ーマのタ	や定や実験などを通して	, 問題解決能力を身につける				
	1	研究領域の決定					
	2		込むために文献検索				
	3	研究テーマの決定	Ē				
	4	予備実験					
	5	研究の実施・デー	-タ分析				
	6						
講	7						
<del>п#</del>	8						
義	9						
7%	10						
内	11						
,	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ.				
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			. == -	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	甲位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	いった。		
		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書 図 F							
参考図書 数科書及び	び						

科目	1名	卒業実習 I -B				学年	3
講的	市名	専任教員		単位数	5	コマ数	113
教科	目標						
単五つ	☲ 7 北級目	明にセンナ本業宝羽も多	<sub>丁</sub> う。研究テーマの決定や実験;	<i>ト</i> ン じた.活!	ア 明	旦百名忍;九名	七十去
子がの		知らのいて午未天白で1	」)。 岍九)― マの大足で夫級	なこを通り	ン C , [中]	起件/ <b>人</b> F	にりて
	1	研究領域の決定					
	2		込むために文献検索				
	3	研究テーマの決定	Ē				
	4	予備実験					
	5	研究の実施・デー	-タ分析				
	6						
講	7						
研	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
П	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	7			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	・ ・格): 教科目標を達成すること	ができなか	かった。		
		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書							
参考図書 教科書及び							
•							

科目	1名	インターンシップ I				学年	3
講郎	币名	伊藤 透 外部機関の	)指導者	単位数	5	コマ数	113
教科	目標						
		生を把握した後、希望分	野の企業において職業研修を	行う。レポ	ポートとは	出席によ	って評
価する。	)						
	1	インターンシップス	 ガイダンス				
	2	インターンシップ					
	3	実習					
	4	インターンシップト	∃誌の提出				
	5						
	6						
<del>=</del> ±	7						
講	8						
義	9						
<del>7</del> %	10						
内	11						
, ,	12						
容	13						
_	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法						
			票を高い水準で達成している。				
評価	新 G		票達成において優れている。 		当台	立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して				
準	)		票において最低限の水準に達し				
			☆格):教科目標を達成することだ	いできなた	いった。	34. /r	
<b>ム</b> 教		書籍名	著者名			発行所	
参科 考料							
参考図書 教科書及び							
青び							

科目	1名	卒業実習Ⅱ-A				学年	3
講師	市名	専任教員		単位数	5	コマ数	113
教科	目標						
研究テ-	ーマに関	ままままます。 ままままままます。 問題	堕解決能力を身につける。テー <sup>・</sup>	マに関する	ろプレも	<b>ヺ</b> ンテー・	ション
能力を			2/14//1007 (2) (2)	V1-[X] /			
	1	研究の実施・デー	 -タ分析				
	2	結果の解析と考察					
	3	卒業論文の抄録					
	4	卒業研究の審査					
	5						
	6						
=#±	7						
講	8						
義	9						
7%	10						
内	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	口頭審査による					
			票を高い水準で達成している。				
評	新 G		票達成において優れている。		<b>\</b>	. =n ⇔	
評 価 基 準	評 P 価 A	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	甲以	拉認定	
準	<u>ш</u> А		票において最低限の水準に達し				
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	いった。		
₩		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書							
書び							

1111	1名	卒業実習Ⅱ-B				学年	3
講自	师名	専任教員		単位数	5	コマ数	113
教科	·目標						
ほどう	557 7 ±616 F	81+ハンナカッカックナグ	ニュ エエ☆ニ →に眼+ヶ中脳+	· 洛 l 一	日日 日苦 &ア	24 Ar. 4	<b>-</b> 白 1 -
		関にあいて卒業美省を作 に関するプレゼンテーシ	テう。研究テーマに関する実験を ゚ョン能力を身につける	ご選し €、	问起胜	決能刀?	と分に
	1	研究の実施・デー					
	2	結果の解析と考察	• .				
	3	卒業論文の抄録	の作成・提出				
	4	卒業研究の審査					
	5						
	6						
講	7						
нт	8						
義	9						
	10						
内	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	口頭審査による					
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。		32/	L = 37 C	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A 一 )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなた	いった。		
+//_		書籍名	著者名			発行所	
参教科							
考書 図 F							
参考図書 教科書及び							
_							

科目	3名	インダーン	ンツノエ					字件	3
講的	币名	伊藤 透	外部機関の	)指導者	È	单位数	5	コマ数	113
教科	目標								
実務実	習のまと	とめを企業に	おいて研修	する。レポートと出	席によって評価	西する。			
	1	実習							
	2	インターン	ンシップ <b>E</b>	日誌の提出					
	3								
	4								
	5								
	6								
譁	7								
講	8								
義	9								
我	10								
内	11								
ניו	12								
容	13								
П	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
評価	方法								
		A(90点以上	.):教科目標	票を高い水準で達成	<b></b> 大している。				
評	( 新 G	B(80~89点	():教科目標	票達成において優れ	っている。			. == -	
評 価 基 準	評P	C(70~79点	i):教科目標	票において一定のフ	k準に達してい	<b>いる。</b>	単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点	():教科目標	票において最低限の	の水準に達して	いる。			
		F(59点以下	または不合	↑格): 教科目標を遺	を成することが	できなか	った。		
		書籍名			者名			発行所	
参考図書 教科書及び									
考書									
書なり									

科目	目名 本業実習Ⅲ-A 学年 3 A								
講郎	所名 専任教員 単位数 2 コマ数 45								
教科 研究テ-		関する実験結果から、問	題解決、プレゼンテーション能力	つ及びまと	∸めのナ	で身に	つける		
	1	結果の解析と考察	<b></b>						
	2	卒業研究の発表							
	3	卒業論文の作成	、提出						
	4								
	5								
	6								
講	7								
研	8								
義	9								
我	10								
内	11								
,	12								
容	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
評価	方法	論文審査とプレゼンテー	ーションによる						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	至 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. =π <b>⇔</b>			
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して		甲山	立認定			
準	ш <u> </u>		票において最低限の水準に達し						
			↑格):教科目標を達成することが -	ができなた	いった。				
粉		書籍名	著者名 ————————————————————————————————————			発行所			
参考図書 数科書及び									
図書 図及									
書☆									

科目	1名	卒業実習Ⅲ-B				学年	3
講的	币名	専任教員		単位数	2	コマ数	45
教科	目標						
出五个	☲ 7 +総目	明において女業中羽もの	ニューエカニーマル=ナス字段を	ま田 かこ	日日 日石 点2	72th →°1	٠, ١٠٠
		対にあいて卒来夫首を1 及びまとめの力を身に1	テう。研究テーマに関する実験糹 Oける	ī未かり、	问起胜	‡沃、ノレ	ハセン
-							
	1	結果の解析と考察	· ·				
	2	卒業研究の発表					
	3	卒業論文の作成	、提出				
	4						
	5						
	6						
講	7						
	8						
義	9						
	10						
内	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
=== /==	20	- - - -	> -> /- L 7				
計1曲	方法	論文審査とプレゼンテー	-				
<del>-</del>	(		票を高い水準で達成している。				
評 価 基 準	新 G		票達成において優れている。	7.7	- 単位	拉認定	
基準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して				
华	)		票において最低限の水準に達し ************************************		L. 4		
			6格):教科目標を達成することが ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いでさなれ	いつた。	<i>5</i> 6 /- =r	
△ 教		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
図書   世及							
<sup>音</sup> び							

科目	名   インターンシップ									
講的	币名									
教科	目標									
実務実	習のまと	とめを企業において	「研修する。レポートと出り	<b>常によって評価する</b>	0					
	1	実習	0							
	2		プロ誌の提出							
	3	インターンシッ	ップのまとめ							
	4									
	5									
	6									
講	7									
HIT	8									
義	9									
	10									
内	11									
	12									
容	13			_						
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法									
		A(90点以上):教	科目標を高い水準で達成	している。						
評	ん 新 G		科目標達成において優れ			<u>+=310</u>				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教	科目標において一定の水	〈準に達している。		立認定				
準	価 A )		科目標において最低限の							
		F(59点以下またに	は不合格):教科目標を達	成することができな	かった。	ı				
<b></b> ₩-		書籍名	著	者名 ————————————————————————————————————		発行所				
参科										
図ェ										
参考図書 教科書及び										

<2	2018	年度入学生 /	ベイオテクノロジー	学科	シラ	うバス	.>
科目			情報科学Ⅲ			学年	3
講的	币名	3	菊地純子	単位数	1	コマ数	15
教科	目標						
類作成	方法∙使		で広く使用されているMicrosoft の卒業研究発表や将来の就職: 票とする。				
	1	スライドの作成、プレース	ホルダの編集、マスターの編集				
	2	プレゼンテーションの作成	tと管理(レイアウトの編集、スライ	ドショーの	)編集、作	也のファイ	゛ル形式
	3	図形やスライドの挿入と	書式設定(図形のグループ化と配列	列、図形の	の書式設	定、確認	復習問題
	4	テキスト・表・グラフの挿り	入と書式設定、SmartArtの挿入				
講	5	スライドコンテンツの作成	(SmartArtの編集、メディアの挿 <i>入</i>	と編集、	図やメテ	゙゙ィアのトリ	<b>!ミン</b> グ)
舑	6	画面切り替え機能、アニス	メーション機能、複数のウィンドウ持	操作、スラ	イドの変	更履歴と	:承諾
義	7	プレゼンテーションの保護	隻(アクセシビリティチェック機能、 <u>5</u>	1換性チェ	ニック機能	も、パスワ	一ド機能
我	8	検定模擬試験問題					
内	9	検定模擬試験問題					
[7]	10	検定模擬試験問題					
容	11	検定模擬試験問題					
<b>T</b>	12	検定模擬試験問題					
	13	検定模擬試験問題					
	14	検定模擬試験問題					
	15	検定模擬試験問題					
	16						
評価	方法	試験と出席による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	( 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。				
価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。			
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
		書籍名	著者名			発行所	

富士通エフ・オー・エム

参考図書 教科書及び

Microsoft PowerPoint 2016 対策テキスト& 問題集

		バイオテクノロジー		J 1-1		学年	3		
			月刊(月日	224 / 1 2 246					
講的		卒業研究担当		単位数	1	コマ数	15		
教科	目標								
コンピュ	一タに。	よるプレゼンテーションの	)基本的な方法を学ぶ。レポート	と出席に	こよって	評価する	<b>5</b> 。		
	1	卒業研究のPPに	よるプレゼンテーション	作成、	添削				
	2								
	3								
	4								
講	5								
	6								
義	7								
	8								
内	9								
	10								
容	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価	方法	プレゼンテーション審査	-						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	L = 27 ch			
評 価 基 準	( 新G 評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定			
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。					
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することだ	ができな	かった。				
111		書籍名	著者名			発行所			
参教									
考書									
参考図書 教科書及び									
J.									

			·   ·   ·   ·   ·   ·   ·   ·   ·   ·	7 17		<u> </u>	1	
	名   有機化学							
講師	师名	能野 秀典		単位数	2	コマ数	15	
教科目	標							
基礎化	学の知	識を整理し、主な有機化	こ合物についての構造や性	生質につて学ん	<b>ડ</b> ેં			
	1	元素と原子、原子	一の構造、原子の性	状				
	2	原子の電子配置	、s, p軌道、化学結 <sup>,</sup>	合				
	3	分子とは、分子量	量、混成軌道					
	4	アルカン、アルカ	ンのIUPAC名、アル	キル基、記	置換反	<b>支応</b>		
	5	アルケン、アルケ	ンのIUPAC名、エチ	テレンの重	合反応	心		
講	6	アルキン、アルキ	·ンのIUPAC名、アセ	zチレンの <sup>・</sup>	付加原	<b>支応</b>		
<b>坐</b>	7	sp, sp2, sp3 混成	軌道の復習、アルコ	コールの構	造と	種類		
義	8	アルコールの反応	な、アルデヒド、ケト	ン				
   内	9	カルボン酸、エス	テル					
1/3	10	10 脂肪酸、ミセル形成						
容	11	ベンゼンの構造、	主なベンゼン誘導	体1				
	12	主なベンゼン誘導	<b>拿体2</b>					
	13	糖、糖の定義、主	な単糖、および多料	塘				
	14	アミノ酸の構造、	ペプチド結合					
	15	核酸の構造、総合	复習					
評価	方法	試験と出席による						
		A(90点以上):教科目	票を高い水準で達成してし	<b>いる。</b> -				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れている。	る。				
評価基準	評P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に	達している。	単	位認定		
準	価 A	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準	に達している。	)			
		F(59点以下または不合	3格):教科目標を達成する	 ることができな	かった	0		
		書籍名	著者名			発行所		
	新課程 ンス 化	視覚でとらえるフォトサイエ			数研出	 出版		
そ		<u>子凶잻</u> り基礎化学	田中永一郎, 松岡	 雅忠	南山	_		
のル			- 1 - 4					
他 								
	•				•			

_ <2018年度入学生 ハイオナクノロン一学科 ンフハス>								
科目	目名	環境概論					学年	1
講館	币名	大石 悦子			単位数	2	コマ数	15
教科目	標							
関する		ハて持続可能な社会を権 知識を学ぶ。併せて企業 指す。						
	1	オリエンテーション(「環	環境概論」を学ん	ぶに当たって)	持続可能	能な社会	会に向け	て
	2	地球人としての私たち	私力	たちの地球と自然	然環境			
	3	海・川・土壌・森林の役	割地理	球環境と生態系				
	4	環境問題の実態	公害問題	大気汚染	水質	 汚濁	土壌	汚染
	5	地球温暖化 オゾン	/層の破壊	酸性雨	森林破壊	<u>;</u> ;	砂漠化	
講	6	環境をめぐる世界の動	き 地球・	サミット 京都	『議定書			
羊	7	環境基本法と環境関連	法規制等	日本の公害	対策技術	j	循環型社	社会
義	8	企業の社会的責任(CS	SR) 環境 <sup>-</sup>	マネジメントシス	テム	環境報	告書	環境保
内	9	グリーン購入 製品	の環境負荷個	減と環境負荷の	の評価方法	去	環境ライ	ベル
ניו	10	個人の暮らしと環境問	題 豊かな	食事と環境の関	月係 生	活者が	「抱く食へ	への不安
容	11	自然と共生した住環境	エコ住宅	とコミュニティ	住宅の	<b>Dライフ</b>	サイクル	と環境
	12	生活排水による河川、	海、地下水の	汚染 ごみへ	の取り組	みの新	動向	
	13	エコツーリズムと環境係	呆護 コミュ	ニティビジネスの	り果たす役	と割 3	環境調和	の街つ
	14	消費生活から創造的生	活へ自然	*と共生する知道	恵や工夫	循	環型社	会の実
	15	自然と将来への責任	豊かな暮ら	しの実現に向け	けて国	際的な	環境協	カ
	16	広範な知識と経験の充実	目指すべき	社会 地球人	としての責	任・将来	世代への	責任
評価	方法	試験と出席による						
		A(90点以上):教科目	票を高い水準で	で達成している。				
評価	新 G	B(80~89点):教科目标					立認定	
評価基準	評 P 価 A	C(70~79点):教科目	漂において一覧	定の水準に達し	ている。	半1	<b>立</b>	
準	Щ A — —	D(60~69点):教科目标						
		F(59点以下または不合	合格)∶教科目标		こができな	かった。		
数	マケミエ 6 円点	書籍名 環境社会検定試験eco検		著者名			発行所	•
参科	定公式元					日本前	<u> </u>	会マネ
参考図書 教科書及び								
書☆								
Ī	Ī		l					

科目	1名	生物資源実習				学年	1			
講自	「名 笈川 あずさ 大谷 理恵 単位数 1 コマ数 23									
教科	目標									
生物資	源(小麦	粉)の分析を行うための	方法を学ぶ。出席とレポートで	評価する						
	1	小麦粉の分析 フ	k分							
	2	小麦粉の分析 🛭	灭分							
	3	小麦粉の分析 米	且脂肪							
	4	小麦粉の分析 タ	ンパク質							
	5	小麦粉の分析 グ	ブルテン							
	6	湯種の作成								
<del>=</del> #	7	7 還元糖の分析								
講	8	恵庭産ゆめちから	らを用いた製品開発							
義	9	プレゼンテーショ	ン							
我	10									
内	11									
F 3	12									
容	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ							
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		;;; /-					
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	里1	拉認定				
準	型 価 A D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。									
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった									
¥h		書籍名	著者名			発行所				
参科										
参考図書 教科書及び										
書び										

<2	2018:	年度入学生 バイ	オテクノ	ロジー	学科	シ	ラバス	
科目	目名	公衆衛生学					学年	2
講館	师名	内藤彩子			単位数	2	コマ数	15
教育目	標							
人が心 考察す		に健全に暮らしていくために、	地域社会にお	ける健康に	関する様	々な問	題を分析	fiし、
	1	公衆衛生とは						
	2	人口の動向						
	3	妊娠出産と胎児の保健		養:優生	保護法			
	4	先天異常、	Š	発表:麻疹	;			
	5	新生児・乳幼児期の保修	 建					
講	6	青少年の保健						
義	7	成人期の保健1、	発	表:iPS細胞	抱 とES	S細胞		
我	8	成人期の保健2						
内	9	老年期の保健と死の問題	題、発表	₹:尊厳死	•安楽列	E、脳列	正•植物	状態
1, 3	10	心の健康	統計	:平均值。	と中央値	直		
<b> </b>   容	11	放射線について						
"	12	感染症1						
	13	感染症2	発表:薬害:	エイズ、ハ	ンセン	病		
	14	食物と健康、	発表:森永ヒ	素ミルク	事件、雪	即食	中毒事	件
	15	職業生活	発表:非正規	雇用のメ	リットと	デメリ	ット	

評価	方法	原則試験による	ら。 ただし、小テストや発表内容の到達度も参	考にする場合もある						
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。 <u></u>							
=π	評	B(80~89点):	<b>教科目標達成において優れている。</b>	単位認定						
評価	価(	C(70~79点):	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。							
基準	G P	D(60~69点):	(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。							
	A E:出席不足。									
	○ F(59点以下):教科目標を達成することができなかった。									
		書籍名	著者名	発行所						
教科	学生のた	とめの現代公衆衛生	野中浩一	南山堂						
書	4 + T	1.4.								
教科書及び参考図書	参考区	l <del>舌</del> 最新図説生物		 第一学習社						
参		42471 11110 1117		7, 1012						
図										
書										

		 	•	<del></del>			
科目名	HACCP概論					学年	2
講師名	蔵崎 美佳			単位数	2	コマ数	15

### 教科目標

平成30年の食品衛生法改正により、HACCPの制度化がスタートした。これまでの国内外の衛生管理に関する経緯を振り返り、食品の安全性について、各自が自分なりの考えを確立すること、また、卒業後、それぞれの立場でHACCPに携われることを目標とする。

	1	教科目標と授業概要説明	1						
	2	HACCP方式による衛生	管理と従来方式による衛生管理の違い						
	3	HACCP誕生							
	4	国外、及び日本における	HACCP導入、普及の推進						
講	5	食品衛生法改正の目的							
	6	危害要因について(生物	的、化学的、物理的)						
義	7	食中毒予防の3原則	事予防の3原則						
	8	食品事業者が実施すべき	事業者が実施すべき管理運営基準						
内	9	一般的衛生管理	的衛生管理						
	10	HACCPの7原則12手順	<b>(1</b> )						
容	11	HACCPの7原則12手順	<b>(</b> 2)						
	12	HACCPの7原則12手順	(3)						
	13	HACCPの7原則12手順	<b>(</b> 4)						
	14	農薬、遺伝子組み換え、	アレルギーについて						
	15	まとめ							
評価	方法	定期試験							
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	( 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。						
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達している。	単位認定					
準	価A	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合	(格):教科目標を達成することができな	 かった。					
		書籍名	著者名	発行所					
参教									
参考図書なる									
参考図書 教科書及び									

	<u> 2018</u>	<u> 牛皮人字生</u>	ハイオナクノロ	ン一字科	ン	フハス	<u>.                                    </u>		
科	目名		醸造学			学年	2		
講館	師名	川端 慎治 池田 卓纪	矢 若生 ゆき絵	単位数	3	コマ数	23		
	目標  文化的	な側面から、微生物によ	<b>よる発酵の原理まで酒造</b>	りに関して広く理	里解する	る。試験に	こよって		
	1	世界の酒と清酒							
	2	清酒づくりのおお	 ;すじ						
	3	酒造りと水							
	4	酒づくりと米							
	5	麹づくり	<b>引づくり</b>						
	6	酒母の育成							
	7	醪の管理							
	8	製成からビン詰ま	製成からビン詰まで						
講	9	分析の心得							
	10	きき酒のコツ							
義	11	酒と法律							
	12	日本のワインと非	と海道のワイン						
内	13	栽培 ブドウ樹の	)一生•年間作業						
	14	ブドウ・ワインの 月	 <b></b>						
容	15	アルコール発酵							
	16	マロラクティック多	 <b></b>						
	17	ワイン醸造の準備	 뷲						
	18	SO2について							
	19	赤ワインの醸造							
	20	白・その他の醸造	± = .						
	21	ワインの熟成.							
	22	ワインの分析							
	23	味覚の基礎テイス	 スティング						
評価	方法	レポートと出席							
		A(90点以上):教科目標	標を高い水準で達成して	いる。					
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目標	標達成において優れてい	いる。					
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	標において一定の水準に	こ達している。		位認定			
準	│価 A │	D(60~69点):教科目	標において最低限の水準	準に達している。					
		F(59点以下または不合	合格):教科目標を達成す	ることができな	かった	0			
1.11		書籍名	著者名			発行所			
参考図書 教科書及び	改訂 清	酒入門			(財)	日本醸造	<sup></sup> 協会		
考書	酒造実習				(財)	日本醸造	≛協会		
書び	ワイン	ノの基礎知識	若生 ゆき絵		新星	出版社			
Ī									

科目			<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	<u> </u>		学年	2
講館		  田所 龍一	<b>パヘノし 土</b>	単位数	3	コマ数	23
	目標	H // 16		十四奴		- \	20
7人1十	口 1示						
販売士	(リテー)	レマーケティング)3級合物	と おおま と と と と と と と と と と と と と と と と と				
<i>&gt;</i> ,			116 11 11 7				
	1	ガイダンス					
	2	ストアオペレーシ					
	3	販売、経営管理					
	4	小売業の類型					
講	5	マーチャンダイジ					
нт	6	マーケティング					
義	7	色彩					
22.2	8	研修ゲーム					
内	9	模擬問題					
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	定期試験による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	٦			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	こいる。	単	位認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<b>している</b> 。			
		F(59点以下または不合	1格):教科目標を達成すること	ができな	かった。	)	
		書籍名	著者名			発行所	
参考図書が	3級養成	講習会テキスト			日本間	商工会調	養所
考書 図 🖁							
書及書び							

科目	4目名  ┃生物資源利用実習 I										
講的	币名	伊藤 透 大谷 理	惠	単位数	2	コマ数	45				
教科	目標										
<b>↓</b> \ <del>++</del> + =			ᅟᄑᆥᅆᅳᄀᇬᄫᅓᇚᅑᅟᄆ		σ <del>+ τ</del> *	+ 7 1. 7	* 1.				
お余をi う	<b>丸料とし</b>	に良品の機能性の測定	!、及び遺伝子の基礎実験、日々	<b>本四分析(</b>	<b>刀基</b> 礎	をてれて	アルイエ				
	1	試料液(緑茶)の作									
	2	アスコルビン酸の	測定								
	3	アミノ酸の測定									
	4		ポリフェノールの測定								
	5	ブルコシダーゼ阻害活性の測定									
	6	大腸菌の培養	に腸菌の培養								
=#±	7	プラスミドの調製	プラスミドの調製								
講	8	制限酵素処理									
義	9	アガロース電気流	k動								
我	10	形質転換									
内	11	日本酒度の測定									
<b> </b> ^]	12	日本酒の酸度測定									
容	13	日本酒のアミノ酸度の測定									
4	14	日本酒のアルコー	−ル度の測定								
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法	レポート、授業態度 他									
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。								
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。								
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定					
準	価A	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。							
	0	F(59点以下または不合		ができなか	いった。						
		書籍名				発行所					
参製											
参考図書 教科書及び											
書九				+							
υ l											

科目	1名	生物資源実習2				学年	2	
講館	币名	大谷 理恵		単位数	1	コマ数	23	
教科	目標							
食品の	機能性	こ関する実験手法を学え						
-								
	1	ポリフェノールの						
	2		(DPPHラジカル消去法)					
	3	抗酸化性の測定の						
	4		変換酵素阻害活性					
	5	ヒアルロニダーゼ	活性阻害の測定					
	6							
講	7							
叶	8							
義	9							
72	10							
内	11							
	12							
容	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
評価	方法	レポート、授業態度 他	Į.					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。					
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			L=37.45		
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定		
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。				
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することフ	ができなた	いった。			
141		書籍名	著者名			発行所		
参科								
参考図書 教科書及び								
書び								

科目	目名	生物資源実習3				学年	2	
講郎	币名	大谷 理恵		単位数	1	コマ数	23	
教科	目標							
食品の	機能性る	を生かした商品開発を行	<b>ラう</b> 。					
-								
	1		を用いた商品の開発					
	2	プレゼンテーショ	ン					
	3							
	4							
	5							
	6							
講	7							
D <del>173</del>	8							
義	9							
72	10							
内	11							
	12							
容	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ.					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。					
評	新 G 評 P	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。	単1	立認定		
準	価 A D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。							
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成すること	ができなた	いった。			
+/∟		書籍名	著者名			発行所		
参科								
参考図書 教科書及び								
書び								

科目名		生化学実習				学年	2	
講自	师名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23	
教科	·目標							
卒業研	究に必要	要な生化学の技術を学ん	5.					
	1	酵素活性の測定						
	2	酵素活性と阻害;	競争阻害					
	3	酵素活性と阻害;	非競争阻害、不競争阻	害				
	4							
	5							
	6							
=#	7							
講	8							
義	9							
我	10							
内	11							
l i	12							
容	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。					
評	新 G 評 P	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		<u> </u>	L=9,4		
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。「	単位	立認定		
準	価 A ・	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	.ている。				
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。			
±/ <b>-</b>		書籍名	著者名			発行所		
参科								
参考図書 教科書及び								
書び								

科目	1名	講読演習Ⅲ				学年	3
講的	币名	担任		単位数	2	コマ数	30
教科	目標						
	ら社会ノ 平価する		たや、社会人としての振る舞いを	身につけ	る。レ <del>7</del>	ポートとĿ	出席に
	1	就職試験対策					
	2	社会人になるため	りの準備				
	3						
	4						
	5						
	6						
=#±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
r 3	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		34 /		
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することだ	ができなか	いった。		
+/∟		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書 図 <sub>元</sub>							
参考図書 教科書及び							

科目名		バイオテクノロジーシ	寅習I			学年	3
講郎	币名	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	30
教科	目標						
専門分!	野に関す	する最新の論文を調べ軸	☆読する。レポート及びロ頭試問	引により評	呼価する	)	
	1	論文輪読					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
=±±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法						
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。		.,,,	L===	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。		
+/_		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 が表現まして							
書び							

科目	目名 就職講座 Ⅱ				学年	3
講館	币名	木下 有希		単位数 <b>1</b>	コマ数	8
教科目標	社会 する	会人として必要なビジネ る。	スマナーを身に付	ける。	試験し	こよって評価
	1	挨拶と電話応対				
	2	他人とのコミュニケー	ション			
	3	社会人としての礼儀				
	4	尊敬語の使い方と実践	<b>浅</b>			
講	5					
	6					
<u> </u>	7					
義	8					
	9					
内	10					
	11					
容	12					
台	13					
	14					
	15					
	16					
評価	方法	試験と出席による				
l		A(90点以上):教科目標を高				
評価	籾 G	B(80~89点):教科目標達成			単	
	評P 価A	C(70~79点):教科目標にお			'	
华	· ·	D(60~69点):教科目標にお			<u> </u>	
		F(59点以下または不合格):		か じざな7 	いつに。	
	72	書籍名 	著者名	21	つわ	発行所 
そ		- / フョンペイルチック快ルチイベト		07	717	انس دا –
の						
一他						

科目名		バイオテクノロジー	持論 I			学年	3
講的	币名	担任		単位数	1	コマ数	8
	目標 動に向い	ナて、国語・数学などの	基礎学力向上を目指す。レポー	トと出席	によって	で評価す	る
	1	就職活動に必要	な基礎学力をつけるため	かに問	題集等	手を用	いる
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	レポート審査による					
			票を高い水準で達成している。				
評価	介 新 G		票達成において優れている。 		当任	立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して		+1	ᅩᇝᇨ	
準	· ·		票において最低限の水準に達し				
			↑格):教科目標を達成することだ	バできなだ	かつた。		
、教		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
図書							
≝び							

科目	目名 就職講座Ⅲ 学年					3
講自	币名	野口 明彦		単位数	2 コマ数	15
教科目標		戦活動に向けて、国語 こって評価する。	・数学などの基礎学	夕力向.	上を目	指す。試験
	1	SPI3の問題解説と練	習問題			
	2	CABーGABの問題解	説と練習問題			
	თ	作文及び小論文の書	き方			
	4	社会人としての心構え	-			
講	5	社会人に必要な一般	教養			
HIJ	6					
	7					
義	8					
	9					
内	10					
	11					
	12					
容	13					
	14					
	15					
	16					
評価	方法	試験と出席による				
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。	]		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。		;; <b>4</b>	
其	評 P	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。	単	
準	価 A )	D(60~69点):教科目標にお	いて最低限の水準に達し	っている。	)	
		F(59点以下または不合格):	教科目標を達成すること	ができな	かった。	
		書籍名 	著者名			発行所
2		ル式 一般常識問題集			〈岡書	
その	就活	生1000人に聞いた これが出る!SPI		剣	星出	版社
他						

科目名		バイオテクノロジー4	持論 Ⅱ			学年	3			
講郎	币名	担任		単位数	2	コマ数	15			
教科	目標									
社会人	として必	要なビジネスマナーを身	身に付ける。レポートと出席によ	って評価	する。					
	1	就職活動に必要	なマナー等を実践的に具	身につり	ける					
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
= <del>#</del>	7									
講	8									
義	9	9								
我	10									
内	11									
173	12									
容	13									
П	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法	レポート審査による								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			L====				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。						
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することが	ができなか	かった。					
111	書籍名					発行所				
参考図書 教科書及び										
考書 図 F										
書び										

_<2	<u>:018</u> :	年度人字生 バイオテクノロジー	子科	ン.	<u> </u>	<u> </u>				
科目	目名	特許法			学年	3				
講自	币名	津幡笑	単位数	2	コマ数	15				
教科目	標									
「知的財産」に関する基本的な知識を身につけ、社会に出てから知的財産権を保護・活用できるようになる										
	1	知的財産権法入門(知A)								
	2	産業財産権導入(産A)								
	3	特許法1(特A)								
	4	特許法2(特B)								
-#	5	特許法3(特B)								
講	6	特許法4(特C)								
<del>*</del>	7	意匠法1(意A)								
義	8	意匠法2(意B)								
内	9	商標法1(商A)								
173	10	商標法2(商B)								
容	11	種苗法(植B)								
	12	不正競争防止法(不C)								
	13	著作権法1(著B)								
	14	著作権法2(著C)								
	15	知的財産調査·問題演習								
	16									

評価	方法	小テスト、期末・	小テスト、期末テストの合計						
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。 ¬						
<b>≣</b> ₩	評価	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。	単位認定					
評価	$\overline{}$	C(70~79点):	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。						
基準	G P	D(60~69点):	(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。						
+	A	E:出席不足。							
	$\sim$	F(59点以下):	(59点以下):教科目標を達成することができなかった。						
100		書籍名	著者名	発行所					
┃ 教 ┃ 科	知的!	財産法入門	小泉直樹	岩波書店					
書									
教科書及び参考図書									
参									
図									
書									
I									

科目	1名	バイオテクノロジーダ	<b>洔論Ⅲ</b>			学年	3
講的	币名	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	15
教科	目標						
特許法 て評価 <sup>・</sup>		を習得し、研究開発や企	*業活動において活用できる素類	地を培う。	レポー	トと出席	によっ
	1	卒業研究の知的	財産権に関して調べ考	察する			
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
= <del>#</del>	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポートによる					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		.,,,	. = =	
評価基準	評P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。「	- 単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	☆格):教科目標を達成すること	ができなか	かった。		
14		書籍名	著者名			発行所	
参教科							
考書 図 3							
参考図書 教科書及び							

<u>&lt;2</u>	<u> 2018:</u>	年度入学生	バイ	<u>オテク</u>	ノロシ	<u> </u>	<u>学科</u>	シ	ラバス	<u>`&gt;</u>
科目	目名	国語表現							学年	3
講自	币名	津幡笑					単位数	2	コマ数	15
教科目	標									
今後の他の授業、就職活動などで必要となる正しい日本語の文章の書き方を身につける。ビジネス文書検 定3級に合格する。										
	1	表記技能・	総合・用	]字						
	2	表記技能•	用字							
	3	表記技能•	用語·書	式						
	4	表記技能•	書式•応	用						
=++-	5	表現技能・	正確なこ	文章						
講	6	表現技能•	わかりち	うすい文	章					
<u>+</u>	7	表現技能•	礼儀正l	しい文章	重•応用	]				
義	8	実務技能•	社内文	<u>書</u>						
内	9	実務技能•	社外文	<u>*</u>						
173	10	実務技能•	文書の	取り扱し	1					
容	11	実務技能•	社内文	書•社外	文書》	寅習				
	12	過去問演習								
	13									
	14									
	15									

評価	方法	検定合格または	検定合格または定期試験						
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。 -						
≡ <del>u</del>	評	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。	単位認定					
評 価	価(	C(70~79点):	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。						
基準	G P	D(60~69点):	教科目標において最低限の水準に達している。						
	A	E:出席不足。							
	$\sim$	F(59点以下):	F(59点以下):教科目標を達成することができなかった。						
101		書籍名	著者名	発行所					
】 教 】 科	ごジネス	文書検定受験ガイト	実務技能検定協会	早稲田教育出版					
書									
教科書及び参考図書									
参									
図									
書									
I									

科目名		バイオテクノロジー4	<b>持論Ⅳ</b>			学年	3			
講郎	币名	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	15			
教科	目標									
文書作	成の技行	析を学ぶ。レポートと出り	常によって評価する。							
	1	卒業研究をまとめ	って抄録、ポスター、論文	ての作品	ずを 行	īう				
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
<del>=</del> #±	7									
講	8									
義	9	9								
我	10									
内	11									
17 3	12									
容	13									
п	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法	論文審査による								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			L===				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。						
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなか	かった。					
+/-		書籍名	著者名			発行所				
参科										
参考図書 教科書及び										
書び										

< 2018		午及人字生 /	ハイオテクノロシー	<u>字科</u>	ン.	<u> フハス</u>	<u> </u>
科目名		統計処理				学年	3
講師名		波多野 幸平		単位数	2	コマ数	15
教科	目標						
実験デー	ータの処	理に関する統計的な方法	を身につける。試験によって評価 <sup>-</sup>	する。			
	1 EXCELの基礎						
	2	基本統計量を統	計関数				
	3	グラフ化機能とク	ロス集計				
	4	分析ツールの利力					
講	5   推定						
	6	平均値に関する検定:母平均の検定					
義	7 平均値に関する検定:平均値の差の検定						
	8	8 分散に関する検定					
内	9	分割表に関する					
	10	分散分析					
容	11	まとめ					
	12	練習問題					
	13						
	14						
	15						
評価方法		定期試験					
評価基準	新評価 (GPA)	A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。			一 単位	立認定	
準		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
参考図書 参考図書 び	書籍名		著者名		発行所		
	バイオ統計解析 IT実習テキスト				つちや書店		
考書図書							
書及書が							

	<u> 2010</u>	十尺八十工	ハイオーソフロンー	<u> 于作</u>	<u> </u>	<u>// \/</u>	
	目名	バイオテクノロジー				学年	3
講館	<b>师名</b>	卒業研究担当		単位数	2	コマ数	15
	·目標 一タの処	<b>処理に関する統計的な</b> 方	う法を身につける。レポートと出	席によっ <sup>・</sup>	て評価で	する。	
	1	卒業研究のデー	 タ処理を行う				
	2	1 213.712	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	論文審査による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,	. = 77 - 44	
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	里1	立認定	
準	│価 A │	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成すること	ができなか	かった。		
+/_		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
考書 図 型							
書び							

科目	目名	生命工学特論				学年	3		
講自	師名	伊藤 透		単位数	4	コマ数	30		
教科	目標								
		理。動植物、微生物のバ バイオ技術認定試験の合	ヾイオテクノロジーに関する高度 ↑格を目指す	な知識を 	·学ぶ。 	試験によ 	いて評		
	1	核酸・タンパク質							
	2	安全管理							
	3	バイオ機器							
	4	微生物バイオテク							
	5	動物バイオテクノ	ロジー						
	6	植物バイオテクノ	ロジー						
<del>=#</del>	7	試験対策							
講	8	150 Mary 1997							
義	9	9							
找	10	10							
内	11								
17.3	12								
容	13								
ı	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
評価	方法	レポート、授業態度 他	]						
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。						
評	← 新 G	B(80~89点):教科目標	漂達成において優れている。			<u>. =a</u> —	_		
評価基準	評P	C(70~79点):教科目标	標において一定の水準に達して	いる。	- 単位	立認定			
準	│価 A │  ∵	D(60~69点):教科目標	票において最低限の水準に達し	、ている。					
		F(59点以下または不合	合格):教科目標を達成することだ	ができなが	かった。				
<b>≯</b> / <sub>7</sub>		書籍名	著者名			発行所	_		
参考図書 教科書及び									
与 図 型									
書び									
1									

科目	科目名   地域資源特論    学年						3
講的	币名			単位数	4	コマ数	30
教科	目標						
		♪て考案した製品のプレ 平価する。	ゼンテーションを行い企業から	の評価を	受ける	。プレゼ:	ンテー
	1	卒業研究として地	は資源を材料に実験を	行う			
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
=#±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
<b>/</b> 3	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	プレゼンテーション審査	こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		32/	L=57.45	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することな	ができなた	いった。		
±/ <b>-</b>		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書 図 <sub>元</sub>							
参考図書 教科書及び							

科目	1名	バイオテクノロジーギ	<b>持論Ⅵ</b>			学年	3
講自	币名	卒業研究担当		単位数	4	コマ数	30
教科	目標						
		ヽて考案した製品のプレ 平価する。	ゼンテーションを行い企業から	の評価を	·受ける	。プレゼ	ンテー
	1	卒業研究として地	は域資源を材料に実験を	行う			
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	プレゼンテーション審査	こによる				
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。			L=37.45	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	î格):教科目標を達成すること	ができな	かった。		
+/∟		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 教科書及び							
書び							

科目	科日名   人						3
講的	币名	専任教員		単位数	1	コマ数	30
教科	目標						
卒業研 学ぶ	究テーマ	7や自分の興味のある勧	頁域の論文を調べ発表すること	によって言	扁文検:	素の仕方	などを
	1	興味のある領域の	の文献を調べる				
	2	調べた文献の内容	容を発表する				
	3						
	4						
	5						
	6						
<del>=</del> ±	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
173	12						
容	13						
ъ	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート 授業態度					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			. ==	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。			
		F(59点以下または不合	☆格):教科目標を達成することが	ができなた	いった。		
		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書   図 =							
参考図書 教科書及び							
•							

			*   *   *   *   *   *   *   *	J   1		<del>/                                    </del>	<u> </u>
科目		バイオテクノロジー				学年	3
講師	币名	卒業研究担当		単位数	1	コマ数	30
教科 専門分!		する最新の論文を調べ軸	侖読する。レポート及びロ頭試問	引により言	平価する	) o	
	1	論文輪読					
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
_	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法						
			票を高い水準で達成している。				
評価	新 G 評 P		票達成において優れている。			立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して		#1	工心化	
準	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		票において最低限の水準に達し				
			↑格):教科目標を達成することか -	バできな	かった。		
粉		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 数科書及び							
帯び							

科目	1名	商品開発実	일 II			学年	3				
講自	师名	越野 友貴子		単位数	1	コマ数	23				
教科目	標										
オリジナ	ル商品	の企画開発、製造	も、販売を通じて食品開発を学ぶ。								
	1	食品開発の流れ									
	2	マーケティングと	企画								
	3	試作									
	4	試作									
= <del>#</del>	5	中間発表 (プレ	ゼンテーション)								
講	6	開発実習 (原価	開発実習 (原価計算)								
羊	7	開発実習(パッ	ケージデザイン)								
義	8	開発実習 (販売	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
内	9	開発実習 (仕入	後実習 (仕入れ、販売準備)								
נץ	10	商品製造、包装	<b>- 製造、包装</b>								
容	11	販売(学園祭)									
I	12	売上報告、まとぬ	も上報告、まとめ								
	13										
	14										
	15										
	16										
評価	方法	レポート、授業	態度 他								
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。								
<u>=</u> 17	評	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。		/	· == -					
価	価	C(70~79点):	教科目標において一定の水準に達して	こいる。	単1	立認定					
評価基準	G P	D(60~69点):	教科目標において最低限の水準に達し	ている。							
	A	E:出席不足。									
	$\sim$	F(59点以下):	教科目標を達成することができなかった	÷.							
+/L		書籍名	著者名			発行所					
<b>教</b> 科											
教科書及び参考図書											
び											
参											
図											
書											

科目	目名	免疫化学実習				学年	3
講郎	币名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23
教科	目標						
卒業研	究に必要	要な免疫化学の技術を学	学ぶ				
	1	抗血清の作成					
	2	IgGの精製					
	3	標識抗体の作成					
	4	オクタロニー法					
	5	ウェスタンブロッラ	ティング				
	6	ELISA法					
講	7						
舑	8						
義	9						
我	10						
内	11						
l. 1	12						
容	13						
п	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	7			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。				
評 価 基 準	新G 評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	- 単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	・ ・格): 教科目標を達成することだ	ができなた	かった。		
		書籍名	著者名			発行所	
参教							
考書							
参考図書 教科書及び							

科目	科目名  ハイオテクノロシー美省   7年   3						3			
講郎	市名	卒業研究担当		単位数	1	コマ数	23			
教科	目標									
タンパク	質など	の生体構成成分を利用	した化学実験法を学ぶ。レポー	トと出席に	こよって	で評価す	る。			
	1	卒業研究に必要	な実験手法を学ぶ							
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
<del>=</del> ±	7									
講	8									
義	9									
我	10									
内	11									
ניו	12									
容	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法	論文審査による								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	L=7,4				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「		立認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	.ている。						
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなか	かった。					
		書籍名	著者名			発行所				
参科										
参考図書 教科書及び										
書なり										
•										

科目名 卒業実習 I -A						学年	3			
講郎	币名	専任教員		単位数	5	コマ数	113			
教科	目標									
研究テー	ーマの🤅	央定や実験などを通して	,問題解決能力を身につける							
	1	研究領域(食品、	遺伝子など)の決定							
	2	研究課題を絞り込	込むために文献検索							
	3	研究テーマの決定								
	4	予備実験								
	5	研究の実施・デー	-タ分析							
	6									
=#+	7									
講	8	8								
¥	9									
義	10									
内	_ 11									
<b> </b> 23	12									
容	13									
4	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法	レポート、授業態度 他	]							
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	( 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。							
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	- 単位	立認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。						
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成すること	ができなた	いった。					
		書籍名	著者名			発行所				
参教										
参考図書 教科書及び										
書なり										
•										

科目	1名	卒業実習 I -B				学年	3
講的	市名	専任教員		単位数	5	コマ数	113
教科	目標						
単五つ	☲ 7 北級目	明にセンナ 本業 宝羽 たん	<sub>丁</sub> う。研究テーマの決定や実験;	<i>t:</i> じた:活!	ア 明	旦百名忍;九名	七十去
子がの		知らのいて午未天白で1	」)。 岍丸)― マの大足で夫級	なこを通り	ン C , [中]	起件/ <b>人</b> F	にりて
	1	研究領域の決定					
	2		込むために文献検索				
	3	研究テーマの決定	Ē				
	4	予備実験					
	5	研究の実施・デー	-タ分析				
	6						
講	7						
研	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
П	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	7			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	・ ・格): 教科目標を達成すること	ができなか	かった。		
		書籍名	著者名			発行所	
参科							
考書							
参考図書 教科書及び							
•							

科目	科目名 インターンシップ I 学年						3
講郎	币名	伊藤 透 外部機関の	)指導者	単位数	5	コマ数	113
教科	目標						
		生を把握した後、希望分	野の企業において職業研修を	行う。レポ	ポートとは	出席によ	って評
価する。	)						
	1	インターンシップス	 ガイダンス				
	2	インターンシップ					
	3	実習					
	4	インターンシップト	∃誌の提出				
	5						
	6						
<del>=</del> ±	7						
講	8						
義	9						
<del>7</del> %	10						
内	11						
, ,	12						
容	13						
_	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法						
			票を高い水準で達成している。				
評価	新 G		票達成において優れている。 		当台	立認定	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して				
準	)		票において最低限の水準に達し				
			☆格):教科目標を達成することだ	いできなた	いった。	34. /r	
<b>ム</b> 教		書籍名	著者名			発行所	
参科 考料							
参考図書 教科書及び							
青び							

科目	1名	卒業実習Ⅱ-A				学年	3	
講師	市名	専任教員		単位数	5	コマ数	113	
教科	目標							
研究テ-	ーマに関	ままままます。 ままままままます。 問題	堕解決能力を身につける。テー <sup>・</sup>	マに関する	ろプレも	<b>ヺ</b> ンテー・	ション	
能力を			2/14/2/10/3/2/3/1-2:// 00 /	V1-[X] /				
	1	研究の実施・デー	 -タ分析					
	2	結果の解析と考察						
	3	卒業論文の抄録						
	4	卒業研究の審査						
	5							
	6							
=#±	7							
講	8							
義	9							
7%	10							
内	11							
	12							
容	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
評価	方法	口頭審査による						
			票を高い水準で達成している。					
評	新 G		票達成において優れている。		<b>\</b>	. =n ⇔		
評 価 基 準	評 P 価 A	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	甲以	拉認定		
準	<u>ш</u> А		票において最低限の水準に達し					
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することが	ができなか	いった。			
₩		書籍名	著者名			発行所		
参科								
参考図書								
書び								

1111	1名	卒業実習Ⅱ-B				学年	3
講自	师名	専任教員		単位数	5	コマ数	113
教科	·目標						
出るう	557 7 ±616 F	81+ハンナカッカックナグ	ニュ エエ☆ニ →に眼+フ虫┗チ	· 洛 l 一	日日 日苦 &ア	24 Ar. 4	<b>-</b> 白 1 -
		関にあいて卒業美省を作 に関するプレゼンテーシ	テう。研究テーマに関する実験を ⁄ョン能力を身につける	ご選し €、	问起胜	決能刀?	と分に
	1	研究の実施・デー					
	2	結果の解析と考察	• .				
	3	卒業論文の抄録	の作成・提出				
	4	卒業研究の審査					
	5						
	6						
講	7						
нт	8						
義	9						
	10						
内	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	口頭審査による					
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。		32/	L = 37 C	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A 一 )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなた	いった。		
+//_		書籍名	著者名			発行所	
参教科							
考書 図 F							
参考図書 教科書及び							
_							

科目	3名	インダーン	ンツノエ					字件	3		
講的	币名	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
教科	目標										
実務実	習のまと	とめを企業に	おいて研修	する。レポートと出	席によって評価	西する。					
	1	実習									
	2	インターン	ンシップ <b>E</b>	日誌の提出							
	3										
	4										
	5										
	6										
譁	7										
講	8										
義	9										
我	10										
内	11										
ניו	12										
容	13										
П	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法										
		A(90点以上	.):教科目標	票を高い水準で達成	<b></b> 大している。						
評	( 新 G	B(80~89点	():教科目標	票達成において優れ	っている。			. == -			
評 価 基 準	評P	C(70~79点	i):教科目標	票において一定のフ	k準に達してい	<b>いる。</b>	単位	立認定			
準	価 A )	D(60~69点	():教科目標	票において最低限の	の水準に達して	いる。					
		F(59点以下	または不合	↑格): 教科目標を遺	を成することが	できなか	った。				
		書籍名			者名			発行所			
参考図書 教科書及び											
考書											
書なり											

科目	目名   卒業実習Ⅲ-A   学年   3							
講郎	币名	専任教員		単位数	2	コマ数	45	
教科 研究テ-		関する実験結果から、問	題解決、プレゼンテーション能力	つ及びまと	∸めのナ	で身に	つける	
	1	結果の解析と考察	<b></b>					
	2	卒業研究の発表						
	3	卒業論文の作成	、提出					
	4							
	5							
	6							
講	7							
研	8							
義	9							
我	10							
内	11							
,	12							
容	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
評価	方法	論文審査とプレゼンテー	ーションによる					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。					
評	至 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. =π <b>⇔</b>		
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して		甲山	立認定		
準	ш <u> </u>		票において最低限の水準に達し					
			↑格):教科目標を達成することが -	ができなた	いった。			
粉		書籍名	著者名 ————————————————————————————————————			発行所		
参考図書 数科書及び								
図書 図及								
書☆								

科目	1名	卒業実習Ⅲ-B				学年	3
講的	币名	専任教員		単位数	2	コマ数	45
教科	目標						
出五个	☲ 7 +総目	明において女業中羽もの	ニューエカニーマル=ナス字段を	ま田 かこ	日日 日石 点2	72th →°1	٠, ١٠٠
		対にあいて卒来夫首を1 及びまとめの力を身に1	テう。研究テーマに関する実験糹 Oける	ī未かり、	问起胜	‡沃、ノレ	ハセン
-							
	1	結果の解析と考察	· ·				
	2	卒業研究の発表					
	3	卒業論文の作成	、提出				
	4						
	5						
	6						
講	7						
	8						
義	9						
	10						
内	11						
	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
=== /==	20	- - - -	> -> /- L 7				
計1曲	方法	論文審査とプレゼンテー	-				
<del>-</del>	(		票を高い水準で達成している。				
評 価 基 準	新 G		票達成において優れている。	7.7	- 単位	拉認定	
基準	評 P 価 A		票において一定の水準に達して				
华	)		票において最低限の水準に達し ************************************		L. 4		
			6格):教科目標を達成することが ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いでさなれ	いつた。	<i>5</i> 6 /- =r	
△ 教		書籍名	著者名			発行所	
参考図書 教科書及び							
図書   世及							
<sup>音</sup> び							

科目	目名	インターンシップ	プ <b>Ⅲ</b>			学年	3				
講的	币名										
教科	目標										
実務実	習のまと	とめを企業において	「研修する。レポートと出り	<b>常によって評価する</b>	0						
	1	実習	0								
	2		プロ誌の提出								
	3	インターンシッ	ップのまとめ								
	4										
	5										
	6										
講	7										
HIT	8										
義	9										
	10										
内	11										
	12										
容	13			_							
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法										
		A(90点以上):教	科目標を高い水準で達成	している。							
評	ん 新 G		科目標達成において優れ			<u>+=310</u>					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教	科目標において一定の水	〈準に達している。		立認定					
準	価 A )		科目標において最低限の								
		F(59点以下またに	は不合格):教科目標を達	成することができな	かった。	ı					
<b></b> ₩-		書籍名	著	者名 ————————————————————————————————————		発行所					
参科											
図ェ											
参考図書 教科書及び											

<2	2018	年度入学生 /	ベイオテクノロジー	学科	シラ	うバス	.>
科目			情報科学Ⅲ			学年	3
講的	币名	3	菊地純子	単位数	1	コマ数	15
教科	目標						
類作成	方法∙使		で広く使用されているMicrosoft の卒業研究発表や将来の就職: 票とする。				
	1	スライドの作成、プレース	ホルダの編集、マスターの編集				
	2	プレゼンテーションの作成	tと管理(レイアウトの編集、スライ	ドショーの	)編集、作	也のファイ	゛ル形式
	3	図形やスライドの挿入と	書式設定(図形のグループ化と配列	列、図形の	の書式設	定、確認	復習問題
	4	テキスト・表・グラフの挿り	入と書式設定、SmartArtの挿入				
講	5	スライドコンテンツの作成	(SmartArtの編集、メディアの挿 <i>入</i>	と編集、	図やメテ	゙゙ィアのトリ	<b>!ミン</b> グ)
舑	6	画面切り替え機能、アニス	メーション機能、複数のウィンドウ持	操作、スラ	イドの変	更履歴と	:承諾
義	7	プレゼンテーションの保護	隻(アクセシビリティチェック機能、∑	1換性チェ	ニック機能	も、パスワ	一ド機能
我	8	検定模擬試験問題					
内	9	検定模擬試験問題					
[7]	10	検定模擬試験問題					
容	11	検定模擬試験問題					
<b>T</b>	12	検定模擬試験問題					
	13	検定模擬試験問題					
	14	検定模擬試験問題					
	15	検定模擬試験問題					
	16						
評価	方法	試験と出席による					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	( 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。				
価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。			
		F(59点以下または不合	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ができな	かった。		
		書籍名	著者名			発行所	

富士通エフ・オー・エム

参考図書 教科書及び

Microsoft PowerPoint 2016 対策テキスト& 問題集

		バイオテクノロジー		J 1-1		学年	3
			月刊(月日	224 / 1 2 2 1 2 1			
講的		卒業研究担当		単位数	1	コマ数	15
教科	目標						
コンピュ	一タに。	よるプレゼンテーションの	)基本的な方法を学ぶ。レポート	と出席に	こよって	評価する	<b>5</b> 。
	1	卒業研究のPPに	よるプレゼンテーション	作成、	添削		
	2						
	3						
	4						
講	5						
	6						
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	プレゼンテーション審査	-				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	L = 27 -	
評 価 基 準	( 新G 評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することだ	ができな	かった。		
ייד		書籍名	著者名			発行所	
参教							
考書							
参考図書 教科書及び							
J.							

科目	1名	食品化字実習				学年	2
講師	市名	大谷 理恵		単位数	2	コマ数	45
教科	目標						
卒業研! いて理解		要な食品の種々の測定だ	方法を学ぶ。また測定値の統計	・的処理を	行い実	ミ験の誤	差につ
	1	ケルダール法					
	2	ソクスレー法					
	3	コンウェイ法					
	4	常圧加熱乾燥法					
	5	ニンニドリン法					
	6	ソモジ変法					
= <b>±</b>	7						
講	8						
義	9						
我	10						
内	11						
ניו	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		- H		
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	単位	拉認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	ì格):教科目標を達成することが	ができなか	いった。		
±/-		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書 教科書及び							
書びし							

科目	图名 動物細胞培養実習 I 学年 2						
講師	市名	伊藤 透		単位数	2	コマ数	45
教科	目標						
動物細	胞培養の	の基礎を学ぶ					
	1	細胞培養についる	て ガイダンス				
	2	器具の滅菌					
	3	培地の作成					
	4	凍結細胞の培養					
	5	細胞の観察					
	6	細胞数の測定					
=#±	7	継代培養					
講	8	細胞の凍結保存					
義	9	浮遊細胞の培養					
我	10	接着細胞の培養					
内	11						
ניו	12						
容	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		;;; /-	_ <del> </del>	
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「	単位	立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	ì格):教科目標を達成することが	ができなた	かった。		
±/-		書籍名	著者名			発行所	
参科							
参考図書							
書び							

_<2	2018	年度入学生 バイオテクノロジー!	学科	シ	ラバス	.>_
科目	1名	商品開発実習I			学年	2
講自	币名	越野 友貴子	単位数	1	コマ数	23
教育目	標					
消費者の	の求める	商品の企画開発をし、食品の安全性を確保して衛生管理に	こ注意しな	がら製	造を行 <b>う</b> 。	
	1	食品開発の流れ				
	2	マーケティングと企画				
	3	試作				
	4	試作				
	5	中間発表 (プレゼンテーション)				
講	6	試作				
義	7	販売				
我	8	売上報告、まとめ				
内	9	試作				
173	10	試作				
容	11	販売				
	12	売上報告、まとめ				
	13					
	14					
	15					
	16		_			

評価	方法	レポート、授業	態度 他	
	新	A(90点以上):	教科目標を高い水準で達成している。	
=17	新評価	B(80~89点):	教科目標達成において優れている。	× / L====
評 価	$\overline{}$	C(70~79点):	教科目標において一定の水準に達している。	単位認定
基準	G P	D(60~69点):	教科目標において最低限の水準に達している。	•
<del></del>	A	E:出席不足。		
	)	F(59点以下):	教科目標を達成することができなかった。	
101		書籍名	著者名	発行所
教科書及び参考図書				
書				
びび				
参				
図				
書				
l				

科目	1名	遺伝子実習				学年	2				
講師	币名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23				
教科	目標										
卒業研:	究に必要	要な遺伝子工学の技術を	を学ぶ								
	1	形質転換									
	2	PCR									
	3	制限酵素処理と	ライゲーション								
	4	アガロース電気流	k動								
	5	ライブラリーの作	成								
	6										
講	7										
研	8										
義	9										
7%	10										
内	11										
,	12										
容	13										
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。								
評	へ 新 G		票達成において優れている。		;; <i>t</i>	+ <del>= 1</del>					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。「	里1	拉認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。							
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。									
₩		書籍名	著者名			発行所					
参科											
参考図書											
書び											

科目	科目名 醸造実習 学				学年	2			
講的	币名	川端 慎治(日本酒) オ	吉生 ゆき絵(ワイン)	単位数	1	コマ数	23		
教科	目標								
酒造りの 評価する		:理解し醸造に必要な技	術及び微生物のコントロール	を学ぶ。レ	ポートと	出席に	よって		
	1	日本酒の醸造 オリエン	テーション						
	2	初添							
	3	踊りと分析							
	4	仲添							
	5	留添							
	6	醪の分析							
講	7	上槽 検定	検定						
	8	ろ過と火入れ	火入れ						
義	9	澱引きと炭素添加	きと炭素添加						
	10	利き酒と分析							
内	11	ワインの醸造 オリエンテ	(ンの醸造 オリエンテーション						
	12	醸造用葡萄の収穫							
容	13	除梗と搾汁 発酵							
	14	醪の分析							
	15	白ワインの澱引き 瓶詰る	か						
	16	赤ワインのマロラクティ							
	17	赤ワインの澱引き 瓶詰る	ø 						
	18	テイスティングと分析							
		_							
評価	方法	レポート、授業態度他							
	_		票を高い水準で達成している。	$\overline{}$					
評価	新 G		票達成において優れている。		単位	拉認定			
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達し <sup>*</sup>						
準	<u>щ</u> .		票において最低限の水準に達						
			↑格):教科目標を達成すること	こができな:	かった。				
。数	\ <del></del> \#_\#_	書籍名	著者名			発行所			
参考図書 教科書及び	酒造集	<b>(首</b>			日本館	<b>養造協会</b>	<u> </u>		
図書									
番び									

科目	科目名 動物細胞培養実習2 学年				2							
講師	币名	伊藤 透		単位数	1	コマ数	23					
	目標 究に必	要な動物細胞培養を用し	いた測定法を学ぶ									
	1	細胞毒性試験										
	2	MTTアッセイ										
	3	アポトーシスの検出										
,	4											
	5											
	6											
講	7											
研	8											
義	9											
720	10											
内	11											
	12											
容	13											
	14											
	15											
	16											
	17											
	18											
,	19											
==:/=	20											
計価	方法	レポート、授業態度他										
=ar			票を高い水準で達成している。									
価	( 新 G 評 P		票達成において優れている。 票において一定の水準に達して	-1\Z	単位	立認定						
評 価 基 準	価 A		票において最低限の水準に達し 票において最低限の水準に達し									
	)		: :格):教科目標を達成すること		1\0 t-							
		書籍名	著者名	// CE/6/	7. 21.0	発行所						
参教		E TH L	нин			76   11/7						
考科												
参考図書 数科書及び												
υ l												

<2016年度入学生 動物科学科 シラバス>

		<u> </u>	<u>- /文/\っ</u>		<u> </u>	111	<b>\/</b>		
科目	1名			公害基礎	楚2			学年	1
講的	币名	南 岳宏	大石 悦	子		単位数	2	コマ数	15
教科		<del>*</del>	<i>b</i> 2 → 7 × ∞ <i>b</i>	-n	7 1 1º 11-1	<del> </del>			
公害防.	止管埋	首試験に合	答する為の	<b>知識を身につけ</b>	る。レポートによ	り評価す			
	1	公害総談	命のまとぬ	5					
	2	公害総談	命の試験	対策					
	3	水質概認	命のまとぬ	5					
	4	水質概認	命の試験	対策					
講	5	汚水処理	黒法のま	とめ					
	6	汚水処理	黒法の試	験対策					
義	7	模擬試驗	<b>美</b>						
	8								
内	9								
	10								
容	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価	方法	試験と出席							
		A(90点以上	二):教科目标	票を高い水準で	達成している。				
評価	新 G			票達成において				- 初中	
評 価 基 準	評 P 価 A				の水準に達して		里1	立認定	
準	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				限の水準に達し				
		F(59点以下	または不合	î格):教科目標	を達成することが	ができな	かった。		
数	八里陆山	書籍名	水管即区	<del></del> , ,	著者名			<u>発行所</u>	
参科	攻略テキ		小貝因际	青山 芳之			オーム	<u>x</u> 社	
参考図書 教科書及び									
書☆									

	<u> 2010</u>	十尺八十工,	117 1 7 P P P	<u>丁刊者</u>			<u> </u>
科目	1名	放射線概論				学年	1
講館	币名	内藤 彩子		単位数	2	コマ数	15
	目標取り扱い	の基礎と放射線の物理学	、化学、生物学を学ぶ。試験によ	くって評価す	゚゚゚゚゚゚゚゚゚ゟ゙゚゚		
	1	エックス線の管理					
	2	エックス線の測定	?				
	3	エックス線の生体	に与える影響				
	4	エックス線の関係	法令				
講	5	まとめ					
	6	試験対策と模擬語	式験				
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	試験と出席					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評価	ん 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。			누ㅋㅋ 스	
評 価 基 準	評 P 価 A		票において一定の水準に達し		里1	立認定	
準	ЩA		票において最低限の水準に達				
		F(59点以下または不合	ì格):教科目標を達成すること -	ができな:	かった。		
<b>≯</b> ⊢	T579	書籍名	著者名			発行所	
参科	エックス 題の解答	線作業主任者試験公表問 と解説			日本非	<b>丰破壊</b>	<b>食査協</b>
参考図書 教科書及び							
書び							

	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<b>7</b> '	, 1 67 1	// -/	<u> </u>		/ \/	
科目	1名	生物工学	1						学年	1
講自	币名	伊藤 透	本多 利息	Į.	波多野 幸	<u> </u>	単位数	3	コマ数	23
教科	目標									
技術士第	第一次討	<b></b> 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	部門の合格	を目	目指す。試験に	こよって評価する。				
	1	基礎科目	設計•討	計画	画に関するも	もの(設計理論、	システム	設計、	、品質管	理等)
	2	基礎科目	情報・論	計理	に関する	もの(アルゴリス	ズム、情	報ネッ	トワー	ク等)
	3	基礎科	1 解析		関するもの	の(力学、電磁	磁気学	等)		
	4	基礎科目	材料・化学	学•	バイオに関	するもの(材料:	特性、バ	イオテ	クノロジ	<b>一</b> 等)
講	5	基礎科目	環境・エネ	トル	/ギー·技術	に関するもの(ヨ	環境、エネ	トルギ	一、技術	東等)
	6	適性科目	技術士法	去第	四章(技術	う士等の義務)(	の規定の	遵守	に関する	る適性
義	7	専門科	目 細朋	包追	遺伝子工:	学				
	8	専門科目	1 生物	勿化	<b>上学工学</b>					
内	9	専門科目		勿玛	環境工学					
	10	試験対策	<del></del>							
容	11	模擬試馬	· 食							
	12									
	13									
	14									
	15									
評価	方法	試験と出席	= i							
		A(90点以_	L):教科目	標を	を高い水準で	で達成している。	٦			
評	へ 新 G	B(80~89,	<u></u> 点):教科目	標道	達成において	 て優れている。				
評価基準	新 G 評 P	C(70~79;	 点):教科目	標(	において一気	 足の水準に達して	いる。	単位	立認定	
準	価 A	D(60~69;	 点):教科目	標	こおいて最低	- 5限の水準に達し	ている。			<u> </u>
	)					票を達成すること		いった。		
		書籍名		T		著者名			発行所	
参数				T						
考書				t						
参考図書				$\dagger$						
Ŋ				+						

科目	目名	情報科学 I (前期)			学年	1			
講自	币名	東川 裕紀子	単位数	2	コマ数	30			
教科	目標								
コンピュ	一タを見	用いた文書処理アプリケーションの基本的な使用方法を	学ぶ。試	験によ	って評価	話する。			
	1	・ガイダンス・基本的な入力・Wordの画面構成 文字や段落	を挿入する	5					
	2	コピーと移動・オートコレクト・日付の挿入							
	3 段落書式(行間・インデント・スタイル)								
	4	テンプレート・ファイのインポート							
	5	文書内の移動 文書の書式設定 Wordのオプション設定	È						
	6	マクロの記録と実行 印刷と保存の設定							
	7	表の作成 表の変更							
	8	リストの作成と変更							
	9	文末脚注・脚注・引用文献の作成 図表番号の作成							
	10	文書パーツの挿入 図形の挿入							
	11	スマートアートの挿入と編集							
	12	試験対策プログラムの操作方法と実施							
=#	13	演習問題							
講	14	文書の作成 文書内の移動 文書の書式設定							
義	15	文書のオプションと表示のカスタイマイズ 印刷と保存形式							
我	16	定期試験							
内	17	文字列と段落の書式設定							
173	18	表やリストの作成							
容	19	参考資料の適用 オブジェクトの挿入と書式設定 文書パー	−ツの挿入						
Έ,	20	画像の挿入と書式設定 図形・スマートアートの挿入と書式	:設定						
	21	模擬試験							
	22	セルやセル範囲の書式設定 セルの並べ替え、グループ化	5						
	23	模擬試験							
	24	セクション区切り 段落後の設定							
	25	模擬試験							
	26	紙媒体を使用した模擬試験							
	27	模擬試験							
	28	検定対策							
29 模擬試験									
	30	検定対策							
	32	定期試験							

_		1		
評価	方法	試験と出席による		
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	
評価基準	新P 番P 番)	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達している。	単位認定
		D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することができな	かった。
		書籍名	著者名	発行所
参教科	Microsoft Office教科書MOS Word2013 テキスト&問題集			翔泳社
考書図	MOSMicro キスト&問	osoft Office Word2013 対策テ 題集		富士通FOM
参考図書教科書及び	_			

科目名		情報科学 I (前期)			学年	1
講師名	東川 裕紀子		単位数	2	コマ数	30

教科目標

コンピュータを用いた表計算処理アプリケーションの高度な使用方法を学ぶ。試験によって評価する。

	1	Excelの基本概要				
	2	ワークシートとブックの書式				
	3	ツールバーのユーザ設定 ウィンドウの表示設定 印刷設定 他のファイル形式での保存				
	4	ワークシートやブックの作成と管理				
	5	セルやセル範囲の作成				
	6	書式コピー・条件付き書式・アウトラインの作成・スパークラインの作成・スパークラインの挿入と編集・名前の定義・総計の挿入				
7 復習問題 テーブルの作成 8 テーブルへの変換と編集・集計機能・抽出、並べ替え機能・複数データの並べ替え・重複データの						
10 比較演算子を使った条件のたて方・ワイルドカード・文字列関数						
	11	関数の応用				
	12	グラフの作成				
=#	13	演習問題				
講	14	復習問題				
義	15	試験対策問題				
我	16	定期試験				
内	17	グラフ(SmartArtの挿入と編集、画像の挿入と編集)				
1 1	18	ワークシートの作成と編集				
容	19	データの入力規則・シートコピー・検索、置換、ジャンプ機能・ブックのプロパティ設定・マクロ機能				
	20	マクロの編集・印刷の設定・ページ設定				
	21	データの置換・セルの書式設定・条件付き書式・スパークラインの作成・名前付き範囲の作成・アウトラインの作成・小計の挿入				
	22	・テーブルの作成・集計行の挿入・数式や関数の利用				
	23	関数の応用問題・グラフの作成と編集				
	24	練習問題				
	25	模擬試験				
	26	紙媒体を使用した模擬試験				
	27	模擬試験				
	28	検定対策				
	29	模擬試験				
	30	検定対策				
	31	模擬試験				
	32	定期試験				

評価	方法	試験と出席による		
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	
評	新P 新PA	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。	
		C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達している。	単位認定
準		D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合	木格):教科目標を達成することができな	かった。
		書籍名	著者名	発行所
参教科		t Office教科書MOS 3テキスト&問題集		翔泳社
考書	MOSMicro キスト&問	osoft Office Excel2013 対策テ		富士通FOM
参考図書 教科書及び	11 11 24 4 5 5 1			

科目	名	体育 I				学年	1			
講的	币名	志田 幸雄		単位数	1	コマ数	15			
教科目標	<u> 1</u>	自己の身体についての 集団における個人の役 5法								
	1	オリエンテーション・ス	トレッチ・軽運動							
	2	ストレッチ・軽運動・ミニ	ニバレー							
	3	ストレッチ・軽運動・ミュ	ニバレー							
	4	ストレッチ・軽運動・ドゥ	ッチボール							
講	5 ストレッチ・軽運動・ドッチボール									
нт	6	5 グループごとに実施(ストレッチ・軽運動・バスケットボール)								
	7	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	バス	ケ:	ノトオ	ボール)			
義	8	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	卓球	:)					
	9	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	卓球	:)					
内	10 1時間歩行(遠足)									
	11	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	<u>ハ゛ト</u>	`E`	ノトン	<b>,</b> )			
-	12	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	<u>ハ゛ト</u>	<u>`</u> \\	ノトン	<b>,</b> )			
容	13	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目	選:	択、	話し合いで決定			
	14	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目	選:	択、	話し合いで決定			
	15	グループごとに実施の	ストレッチ・軽運動・	種目	選:	択、	話し合いで決定			
	16									
評価	方法	・出席状況+授業への積極的	カ取組(できなくても一生恩	係命や	る)					
		A(90点以上):教科目標を高								
評価	新 G	B(80~89点):教科目標達成			L_	単				
甘	評 P 価 A	C(70~79点):教科目標にお			L	<del>T</del>				
準	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	D(60~69点):教科目標にお								
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。									
		書籍名	著者名				発行所			
そ										
。 の										
册										

科目名		体育Ⅱ			学	学年 1		
講師名		志田 幸雄		単位数	1 =	マ数		15
教科目標	. 1	自己の身体についての 集団における個人の役 5法						
	1 オリエンテーション・ストレッチ・軽運動							
	2	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
	3	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いで	で決定
講	4	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いで	で決定
	5	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合い	で決定
	6	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いで	で決定
	7	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
義	8	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
	9	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
内	10	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
容	11	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いで	で決定
	12	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
	13	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
	14	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いで	で決定
	15	グループごとに実施(ス	ストレッチ・軽運動・	種目道	選択	、話し	合いる	で決定
	16							
評価	評価方法・出席状況+授業への積極的取組(できなくても一生懸命やる)							
1       <u>甘</u>	新評価 (GPA)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。						
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。						
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。 単						
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
	書籍名		著者名		発行所			
そ								
の								
他								

科目名		講読演習 I				学年	1			
講的	币名	担任		単位数	2	コマ数	30			
教科	目標									
職業人	を目指す	けために、何が必要かを	考え実践する。レポートと出席	によって評	平価する	5.				
	1	入学オリエンテー	・ション							
	2	専門学校の生活	について							
	3	職業人になるため	りに必要なこと							
	4	資格について	資格について							
	5	専攻の選択								
	6	基礎学力の強化								
講	7	社会人基礎力の	強化							
마	8	グループワーク								
義	9									
72	10									
内	11									
	12									
容	13									
П	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法									
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		.,,	L=n-				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目村	票において一定の水準に達して	いる。「		立認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。						
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。								
+/∟		書籍名	著者名			発行所				
参考図書 教科書及び										
考書 図 F										
書び										
-										

科目名		講読演省 <b>Ⅱ</b>				学年	2			
講的	市名	担任		単位数	2	コマ数	30			
教科	目標									
		マナーを身につけるとと よって評価する。	さもに、就職に対する意識付けと	:就職活動	めの準値	<b>備を行う</b> 。	。 レ			
	1	社会人基礎力の	 強化							
	2	基礎学力の強化								
	3	資格取得についる	C							
	4	就職のための準備	備と心構え							
	5	グループワーク	ブループワーク							
	6									
=#	7									
講	8									
義	9									
我	10									
内	11									
173	12									
容	13									
10'	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
評価	方法									
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		.,,,	. =				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。	里位	拉認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。						
		F(59点以下または不合	ⅰ格):教科目標を達成することだ	ができなか	いった。					
		書籍名	著者名			発行所				
参科										
考 =   図 =										
参考図書 教科書及び										
•										

科目名		英会話			学年	1					
講自	币名	ピーター		単位数 1	コマ数	15					
教科目標		会話を通じ、国際的コミ って評価する。	ュニケーション能力	っを身に	つける	。試験に					
	1	食べ物に関する英会	話								
	2	スポーツ									
	3	場所									
	4	音楽									
講	5	映画									
"'	6 楽しみ										
3.£	7	毎日の生活									
義	8	健康的な習慣									
	9	週末の活動									
内	10	近所の様子									
	11	買い物									
<u></u>	12	衣服									
容	13										
	14										
	15										
	16										
評価	方法	試験と出席による									
		A(90点以上):教科目標を高	い水準で達成している。								
評価	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。								
其	評 P 価 A	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して		- 単						
準		D(60~69点):教科目標にお									
		F(59点以下または不合格):		ができなか							
		書籍名 <del>-</del>	著者名			行所 					
そ	Spe	eak Now I			際教育	<u>往</u>					
の											
他											

科目	名	名 就職講座						2
講的	币名	野口 明彦		単位数	3	コマ数		23
教科目標	• • •	敞活動に向けて、国語 <sup>、</sup> こって評価する。	・数学などの基礎学	力向	句上	.を目	指す。試	験
	1	SPI3の問題解説と練	習問題					
	2	一般常識問題						
	3	履歴書の書き方						
	4	自己PRの書き方						
講	5	作文及び小論文の書	き方					
	6							
¥	7							
義	8							
	9							
内	10							
	11							
容	12							
Ū,	13							
	14							
	15							
	16							
亚布	七注	試験と出席による						
ᇑ	<i>/</i> ] / <u>\</u>	試験と山帯による A(90点以上):教科目標を高			ר ר			
評	_	B(80~89点):教科目標達成						
評価基準	新 G 評 P	C(70~79点):教科目標にお		いる。	H	単		
<b>基</b>	価A	D(60~69点):教科目標にお			 る。			
	)	- F(59点以下または不合格):		-		った。		
		書籍名	著者名				発行所	
7	ドリ	ル式 一般常識問題集			永同	岡書.	店	
その	就活	生1000人に聞いた これが出る!SPI			新星	星出.	版社	
他								

_<2	<u>:018</u> :	年度人字生 /	ベイオテクノロジー	子科 ン	ラバス	<b>\</b>				
科目	目名	業界研究			学年	1				
講自	币名	扇谷 悟		単位数 2	コマ数	15				
教科目	標									
			始めとして、学生が進みうる業 進むべき分野を考えるきっかけ!		躍している	5各先				
	1	産業技術総合研	究所北海道センターとは	はどのような	こところ	か。				
	2	研修生の1日と研	修内容の紹介。							
	3	研修生はどのよう	方な施設で研修を行って	いるのか。						
	4	扇谷先生:食品の	)機能性を調べる方法							
	5	扇谷先生:特許の	)話							
講	6	津田先生:不凍タン	パク質とは何か?一機能解析	折から医学応	別まで	<b>-</b> (1)				
¥	7	津田先生:不凍タン	パク質とは何か?一機能解	折から医学応	別まで	<b>-</b> (2)				
義	8	小松先生:核酸σ	小松先生:核酸の持つ性質とその利用について(1)							
内	9	小松先生:核酸σ	)持つ性質とその利用に	ついて(2)	)					
173	10	佐々木先生:研修	佐々木先生:研修生が従事している研究テーマの背景と内容(1)							
容	11	佐々木先生:研修	生が従事している研究テ	ーマの背景	景と内容	<b>§</b> (2)				
	12	田村先生:微生物	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	質から医薬	品まで	-(1)				
	13	田村先生:微生物	゙゙゙゙゙゙゙゙ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	質から医薬	品まで	-(2)				
	14	鎌形先生:微生物	かっていったい何者?(1	)						
	15	鎌形先生:微生物	かっていったい何者?(2	)						
評価	方法	出席とレポート								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目相	票達成において優れている。	,,,	/L====					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。	位認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目相	票において最低限の水準に達し	ている。						
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することだ	ができなかった						
بر <u>د</u>		書籍名	著者名		発行所					
参科										

科目名		化学				学年	1		
講館	市名	南 岳宏		単位数	3	コマ数	23		
教科	目標								
化学の	基本概念	念を理解し科学的に考察	察する能力を身につける事を目	的とする	)				
	1	物質の成り立ち							
	2	化学の基本法則							
	3	原子の構造							
	4	電子配置							
	5	周期律							
	6	共有結合							
	7	イオン結合							
	8	配位結合、金属絲	吉合						
	9	分子の運動	子の運動						
講	10	気体の状態方程	体の状態方程式						
	11	分子間力							
義	12	まとめ1							
	13	溶液の性質							
内	14	沸点上昇、凝固点	#点上昇、凝固点降下 #点上昇、凝固点降下						
	15	浸透圧、コロイド							
容	16	化学反応と熱							
	17	反応速度							
	18	化学平衡							
	19	酸塩基反応							
	20	電離平衡							
	21	酸化還元反応							
	22	イオン化傾向、酸	化還元電位						
	23	電気分解							
	24	まとめ2							
	25	定期試験							
評価	方法	試験と出席による							
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目相	票達成において優れている。						
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	こいる。	単作	立認定			
準	価A	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<b>、ている</b> 。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。							
Lac		書籍名	著者名			発行所			
参教	新課程ンス 化	視覚でとらえるフォトサイエ 学図録			数研と	出版			
参考図書 教科書及び		り基礎化学	田中永一郎, 松岡雅忠		南山堂				
書なり									

	<u> </u>	<u> </u>	- 1 - 3 / /	J			<u> </u>
科目	1名	基礎化学演習				学年	1
講的	币名	南 岳宏		単位数	1	コマ数	15
教科目	標						
計算の る。	練習や	、実験の理論を学ぶこと	で、実際に実験するときに困ら	ないよう	なスキ	ルを身に	つけ
	1	濃度計算(ppmな	どの濃度)				
	2	濃度計算(溶液 $\sigma$	)混合に関する計算)				
	3	濃度計算(試薬の	D純度を考慮した計算)				
	4	濃度計算(密度を	・ 考慮した計算)				
= <del>**</del>	5	濃度計算(水和物	かを含む試薬の取り扱い	`方)			
講	6	化学反応式の作	り方				
義	7	化学反応の量的	関係				
我	8	まとめ					
内	9						
P 3	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	定期試験					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	٦			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れている。		;;; /i		
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。	単1	立認定	
準	価 A ・	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	っている。	ı		
		F(59点以下または不合	合格):教科目標を達成すること:	ができな	かった。	)	
±/-	<b>7</b> Γ-₩10	書籍名	著者名			発行所	
参科	新誄程 ンス 化:	視覚でとらえるフォトサイエ 学図録			数研出		
参考図書 教科書及び	まるわかり	り基礎化学	田中永一郎, 松岡雅忠	,	南山堂		
書び	三省堂	新化学小事典 改訂版			三省!	堂	

_ < 2	<u>:018:</u>	平渂人子生 /	ハイオナクノロシー	子件	ン	<u> フノハス</u>	· /
科目	目名	生物学				学年	1
講自	币名	澤田幸治		単位数	2	コマ数	15
教科目	標						
-			る細胞の構造と機能を理解し、 る生存の仕組みを理解し、基準		-		0
	1	講義のガイダンス	く、生物の特徴について	•			
	2	細胞の構造(細	胞の基本構造と機能)				
	3	生物の誕生と多様	化(生物の多様化、多	細胞生	物、紙	胞間結	(合記
	4	生体を構成する特	物質1 (高分子、アミノ	酸とタン	ノパク	質)	
-11	5	生体を構成する特	勿質2 (糖質、脂質、核	酸、ビ	タミン	、ミネラ	ラル)
講	6	中間テスト1					
¥	7	遺伝子の構造と	幾能1(DNAの構造、	セントラ	ブルド:	グマ、複	夏製)
義	8	遺伝子の構造と	幾能2 (転写、翻訳、原	核生物	勿の場	景合)	
内	9 生体とエネルギー1 (代謝と酵素の機能、ATP)						
ניו	10	生体とエネルギー	−2 (解糖系、TCA回路	各)			
容	11	生体とエネルギー	-3 (電子伝達系、血糊	値の記	淍節)		
	12	中間テスト2					
	13	光合成1 (環境:	条件、葉緑体、光合成0	り機構	1)		
	14	光合成2、窒素同	化 (光合成の機構2、	直物の	進化、	窒素同	引化)
	15	前期のまとめと期	]末試験対策				
評価	方法	講義ごとの復習テスト、	2回の中間テストおよび期末テ	・スト			
		A(90点以上):教科目	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れている。		324 /		
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	こいる。	-   単1	立認定	
準	価 A ・	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	っている。			
		F(59点以下または不合	合格):教科目標を達成すること	ができな	かった。	o	
¥ŀ-		書籍名	著者名			発行所	
参科	五訂版ス	スクエア最新図説生物neo				学習社	
参考図書教科書及び	やさしい基	基礎生物学 第2版	今井 一志, 大島 海一, 鈴木 秀和, 田中 次郎	II, 南雲 保	羊土ネ	<u> </u>	
書び							

•	<u> </u>		<u> </u>		
科目名	バイオサイエンス演習			学年	2
講師名		単位数	1	コマ数	15

### 教科目標

- ① 日本と異なる文化に触れ、実際にその中で様々な体験をすることで、グローバルな視点を身に付け、国際
- 性豊かな人間へ成長する第一歩とする。
  ② 英語を中心としたバイオテクノロジー実験のレクチャーを受けることで、バイオ分野の世界共通語である英語に慣れ親しみ、自分が将来活躍できる舞台が日本に限定されないことを実感する。

יבי בי	0496007		#日の日本では及んといいなりことと人心がも。						
	1	海外研修の目的	と位置づけ						
	2	シンガポールにつ	いての導入						
	3	前年度の海外研	修報告会						
	4	海外研修の意義	について						
講	5	海外における英名	会話:日常会話						
	6	海外における英語	外における英語:専門英語						
義	7	サイエンスセンタ	イエンスセンターでの研修						
	8	振り返りと報告(フ	J返りと報告(プレゼンテーション)						
内	9								
	10								
容	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価	方法	プレゼンテーションと受	講態度						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。						
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。						
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達している。	単位認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合	6格):教科目標を達成することができな	かった。					
141		書籍名	著者名	発行所					
参教									
考!!									
参考図書 教科書及び									

		1	11/1/1/1/P	· / 丁竹		<u>ノハ・ハン</u> 一 <sub>当左</sub> 一	4
	目名 <del></del>	分析化学		W 11 No.		学年	1 =
	币名 <del></del>	南岳宏		単位数	2	コマ数	15
教科目	<del>標</del>						
実験や	研究に	必要な計算、また測定 <i>0</i>	)基本理論を学ぶこと	を目的とする。			
	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
	1	データの取り扱い					
	2	有効数字を考慮し	した計算法				
	3	原子量、分子量、	モル				
	4	モル濃度(定義と	計算法)				
=++-	5	モル濃度(ファクク	ターについて)				
講	6	パーセント濃度					
¥	7	溶液の希釈法					
義	8	滴定法の基礎					
内	9	中和滴定、沈殿》	 <b></b>				
נא	10	酸化還元滴定、	トレート滴定				
容	11	光を使った分析法	まの基礎				
Į <b>L</b>	12	吸光光度法					
	13	まとめ①					
	14	まとめ②					
	15	まとめ③					
評価	方法	定期試験					
		A(90点以上):教科目	票を高い水準で達成し	ている。			
評	( 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れて	いる。			
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準	生に達している。		位認定	
準	価A	D(60~69点):教科目	票において最低限の水	(準に達している	<b>)</b>		
		F(59点以下または不合	☆格):教科目標を達成	することができな	かった		
		書籍名	著者名	3		発行所	
参教科	新課程ンス 化	視覚でとらえるフォトサイエ 学図録			数研员	出版	
考書		り基礎化学	田中永一郎, 松	岡雅忠	南山	 堂	
参考図書 教科書及び	三省堂	新化学小事典 改訂版			三省	堂	
					•		

			· 1 · 3 · 7 · · · · ·	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		
科目	目名	生化学 I				学年	1		
講的	<b>币名</b>	澤田 幸治		単位数	2	コマ数	15		
教科目	標								
			項を理解し、説明できること 質の構造を理解し、基本的	-	できるこ	يخ.			
	1	オリエンテーション、	細胞 細胞内小器官の	)働き、細原	抱膜				
	2	生体と水 水、溶液	、緩衝液						
	3	生体エネルギー 生	体エネルギー、呼吸と	高エネルコ	ギーりん	も酸化1	合物		
	4	糖質 糖質の構造、	分類、性質						
=++	5	タンパク質 アミノ酸	き及びタンパク質の構造	、性質、分	類				
講	6	脂質 脂質の構造、	性質、分類 生体膜						
主	7	核酸 核酸の構造、構成成分							
義	8	酵素 酵素の性質、	分類、酵素反応と阻害	!					
内	9	9 ビタミン ビタミンの分類、欠乏症、補酵素							
ניו	10	ホルモン ホルモン	の構造、主な分泌腺、化	作用					
容	11	ミネラル 電解質の	役割、陽イオン、陰イオ	ン					
•	12	植物と光合成 成長	と開花						
	13	まとめ1							
	14	まとめ2							
	15	試験対策							
評価	方法	講義ごとの復習テスト、	2回の中間テストおよび期	末テスト					
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。	る。  -					
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている	0					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達	している。		立認定			
準	価 A )	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に	達している	•				
		F(59点以下または不合	3格):教科目標を達成する	ことができな	いった。	0			
±/ <b>-</b>	75 × 7-1	書籍名	著者名			発行所			
参考図書 教科書及び		テクノロジーテキストシリー 学 第二版	小野寺一清/蕪山日	由己人	講談社	サイエンテ	イフィク		
<b>多書</b>									
書び									

<b>\</b> 2	く2018年度入学生 ハイオナグノロン一学科 ンプハスン								
科目	目名	生化学Ⅱ				学年	1		
講自	师名	澤田 幸治		単位数	2	コマ数	15		
教科目	標								
			はしエネルギー源となる有機物質の代謝の基本的事項を理解し、説明できること。 主要な化学物質の構造や反応を理解し、基本的事項を説明できること。						
	1	生体エネルギーと作	弋謝1(栄養成分からのエネ	ヘルギー	−獲得フ	方法等)			
	2	生体エネルギーと作	弋謝概論2(糖新生、コレス	テロー	ル合成	(等)			
	3	呼吸代謝1(解糖系	、クエン酸回路)						
	4	呼吸代謝2(酸化的リン酸化、エネルギー効率、多糖の分解系)							
= <del>#</del>	5	糖質の生合成系1(ペントースリン酸経路、グリコーゲンの代謝とその調節等)							
講	6	糖質の生合成系2(スクロースの生合成、糖からのアミノ酸合成等)							
義	7	多細胞生物の自己	維持機構2 (グリコーゲン	の代謝	とその	調節)			
我	8	中間テスト1							
内	9 脂質代謝(脂肪酸分解系、β酸化に付随したケトン体の産生、脂肪酸合成						<b>戊系</b> )		
P 3	10	タンパク質・アミノ酸	代謝(アミノ酸の異化代謝、	尿素回	路、ア	こノ酸台	(政)		
容	11	核酸代謝1(ヌクレス	ナチドの構造と代謝概略、!	Jボヌク	レオチ	ドの合	成)		
	12	核酸代謝2(デオキシリ	ボヌクレオチドの合成、ヌクレオ	チドの新	生経路	と再利用	経路)		
	13	中間テスト2							
	14	光合成1(葉緑体、	光合成反応、光呼吸)						
	15	光合成2(光合成の	仕組み、C4光合成)						
評価	方法	講義ごとの復習テスト、	. 2回の中間テストおよび期末テ	・スト					
		A(90点以上):教科目	標を高い水準で達成している。						
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目	標達成において優れている。		) H				
価 基 準	評P	C(70~79点):教科目	標において一定の水準に達して	こいる。	-   単1	立認定			
準	ー価 A ー・・	D(60~69点):教科目	標において最低限の水準に達し	っている。	)				
		F(59点以下または不台	合格):教科目標を達成すること	ができな	かった。	o			
<b></b> #⊬	<del>♦</del> € . × / - 1	書籍名	著者名			発行所			
参考図書教科書及び	新ハイオ ズ 生化	テクノロジーテキストシリー 学 第二版	小野寺一清/蕪山由己	3人_	講談社	ナイエンテ	イフィク		
参考図書祭科書及び									
書び									

科目名危険物化学学年1講師名神 和夫単位数2コマ数15	## <b>*</b> ! <b>—</b> ! <b>—</b>				
科目名 危険物化学 学年 1	講師名	神 和夫	2	コマ数	15
	科目名	危険物化学		学年	1

#### 教科目標

専門的知識を有する職業人をめざすための第一歩として、消防法に定める危険物のうち、特に「第4類引火性液体」について学ぶなかで、基礎的な化学の力を付け、取扱や法規制についての考え方や必要な知識を習得する。

や必要	よ知識を	と省侍する。							
	1	テキストの構成と講義全1	2回の進め方を概説する。第2編第1章危険	≷物第1類~第6類の概要 <sup>:</sup>					
	2	第2編第2章「第4類危険物	物の概論」; 引火性液体、引火点・発火点、	第1~第4石油類、自然発					
	3	第1編 物理学と化学の基	基礎知識 第1章 基礎的物理学および基礎	<b>赴的化学</b>					
	4	第1編 第2章 燃焼に関す	する基礎知識						
= <del>#</del>	5	第1編に関する問題を解る	き、内容の理解を深める						
講	6	第2編に戻り、重要ポイン	トを再度解説する。第2編に連する問題を角	<b>幹さ、内容の理解を深め</b>					
¥	7	第3編 危険物に関する法令 第1章 消防法 (その1)							
義	8	3編 危険物に関する法令	う 第1章 消防法 (その2)						
内	9	第3編 第2章 危険物の	規制に関する政令						
<b>^</b> ]	10	第3編 第3章 危険物の	第3編 第3章 危険物の規制に関する規則						
容	11	資格試験直前対策として、模擬試験問題を解いてもらい、重要ポイントを解説する(1)							
4	12	12 資格試験直前対策として、模擬試験問題を解いてもらい、重要ポイントを解説する(2)							
	13	まとめ							
	14	模擬試験							
	15	模擬試験							
	16								
評価	方法	試験と出席による							
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。						
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。						
価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目標	票において一定の水準に達している。	単位認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目標	票において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合	格):教科目標を達成することができな	かった。					
ועב		書籍名	著者名	発行所					
参科	基礎から最新問	題までよくわかる乙4種危険物取扱者受験教科書		向学院					
考書 図 7									
参考図書 教科書及び									
_									

科目	1名	微生物学 I				学年	1	
講的	币名	内藤彩子		単位数	2	コマ数	15	
教科目	標							
微生物	の基礎に	的な知識を学び、遺伝子	- 工学、食品、醸造、実験動物タ	分野の勉	強につ	なげる。		
	1	授業の進め方、微	<b>数生物とは何か</b>					
	2	微生物学の歴史						
	3	微生物の種類と特	寺徴					
	4	真正細菌の分類						
=-+-	5	細菌の実験法、グラム陽性菌と陰性菌の観察						
講	6	真正細菌の構造	1					
羊	7	真正細菌の構造は	2					
義	8	グラム陽性菌						
内	9	グラム陰性菌						
173	10	利用される真正組	田菌、古細菌					
容	11	真菌1						
	12	真菌2						
	13	ウイルス						
	14	抗生物質と耐性菌	直					
	15	授業の総まとめ、	試験対策					
評価	方法	試験による						
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。					
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標	票達成において優れている。					
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目標	票において一定の水準に達して	いる。		拉認定		
準	価 A ・	D(60~69点):教科目標	票において最低限の水準に達し	ている。	ı			
		F(59点以下または不合	`格):教科目標を達成すること	ができな	かった。	)		
₩	<u> </u>	書籍名	著者名			発行所		
参科		テクノロジーテキストシリー 生物学 新装第二版	別府輝彦		講談社	ナイエンテ	・イフィク	
参考図書 教科書及び								
書び								

科目	名	微生物学 II				学年	1
講郎	币名	米山 敏枝		単位数	2	コマ数	15
教科目	標						
微生物	の生理が	生態の基礎について理	解し、さらにその応用利用につ	いての知	コ識を深	める。	
	1	微生物の代謝(発	酵、呼吸)				
	2	微生物の代謝(光	合成、同化、調節)				
	3	微生物の増殖と	分化(環境要因、増殖)				
	4	微生物の増殖と	分化(分化、ファージの均	曽殖)			
=-+-	5	微生物の遺伝(遺	伝子の構造、突然変異	€)			
講	6	微生物の遺伝(遺	伝子組換え)				
義	7	微生物の遺伝(育	種)				
我	8	微生物の利用(伝	統的な利用)				
内	9	微生物の利用(代	:謝産物の工業生産)				
ניו	10	微生物の利用(酵	(素利用技術)				
容	11	微生物の利用(抗	[生物質]				
	12	食品の保存(腐敗	(、食中毒)				
	13	食品の保存(殺菌	「と保存、バイオセーフラ	ティー)			
	14	環境における微な	生物の活動(環境浄化)				
	15	環境における微気	生物の活動(元素循環、	多様性	<u>‡</u> )		
評価	方法	定期試験+小テスト					
		A(90点以上):教科目	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れている。				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	こいる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目	票において最低限の水準に達し	している。	<b>)</b>		
		F(59点以下または不合	â格):教科目標を達成すること 	ができな	かった。	)	
<del>≱/-</del>	<del>□</del> □.♡ /→	書籍名	著者名			発行所	
参科		テクノロジーテキストシリー 生物学 新装第二版	別府輝彦		講談社+	ナイエンテ	・イフィク
参考図書が							
書び							

科目名		分子生物学	1
講自	币名	伊藤 透   単位数 2   コマ数	15
教科目標		命現象および遺伝の分子的メカニズムを習得し、これから学ぶ Fクノロジー分野の学習の基礎とする。	バイ
	1	分子生物学とは / DNAとRNA①: ヌクレオチド	
	2	DNAとRNA②: DNA・RNAの性質	
	3	アミノ酸とタンパク質①: アミノ酸の基本構造	
	4	アミノ酸とタンパク質②: アミノ酸の種類と性質	
講	5	ペプチド	
нт	6	原核細胞と真核細胞	
	7	転写①: 原核生物の転写、オペロン	
義	8	転写②: 真核生物の転写	
	9	転写産物のプロセッシング①: 一次転写産物、mRNAの成熟	ļ(1)
内	10	転写産物のプロセッシング②: mRNAの成熟②(スプライシン	グ)
. •	11	翻訳①: コドンとフレーム	
	12	翻訳②: リボソームとtRNA、翻訳の開始とペプチド鎖の伸長	反応
容	13	翻訳③: 翻訳後修飾 / 突然変異①	
	14	突然変異②と修復機構	
	15	DNAの複製①:半保存的複製、不連続複製、複製の開始、	流れ
	16	DNAの複製②:複製装置と複製の完結、テロメア	

科目	1名	遺伝子工学				学年	1			
講館	币名	澤田幸治		単位数	2	コマ数	15			
教科目	標									
		造や発現の仕組みを理 Aを扱う技術の基本と応	]解し、説明できること。 用分野について理解し、説明で	きること						
	1	ガイダンス、DNA	と遺伝子の基礎核酸の	)構造。	と性質	〔、試達	<b>芝等</b>			
	2	DNAと遺伝子の	基礎:DNA関連酵素、i	遺伝子	の構	造と発	現。			
	3	遺伝子工学の基	礎技術:核酸の調製、樹	<b>美出、</b> 5	定量。					
	4	遺伝子工学の基	礎技術:ハイブリダイゼ	ーショ	ン、プ	ローブ	ì			
=++-	5	遺伝子工学の基準	礎技術:PCR法、シーク	フエンシ	ノング					
講	6	中間テスト1	中間テスト1							
義	7	遺伝子組換え実験の基礎:概要、宿主、ベクター、導入法								
我	8	遺伝子組換え実験	験の基礎∶cDNA発現う	ライブラ	ラリーイ	作製と	利用			
内	9	遺伝子工学の応用	:細胞融合法、モノクロー	ン抗体	、微生	物への	)応用			
17 3	10	遺伝子工学の応え	用:植物への応用、動物	勿への	応用					
容	11	遺伝子工学の応	用:発生工学、iPS細胞	,遺伝	子発	現の評	平価			
П	12	中間テスト2								
	13	遺伝子組換え実験	験の安全性、バイオハ <sup>+</sup>	ゲード、	環境	,				
	14	バイオ機器:分析	機器、ハイテクノロジー	-実験構	幾器、	汎用機	<b>接器</b>			
	15	まとめと試験対策	<u> </u>							
評価	方法	復習テスト、中間テスト	、期末試験							
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。							
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	L====				
· 価 基 準	評 P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	こいる。	単位	立認定				
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	<b>、ている。</b>	1					
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。									
		書籍名	著者名			発行所				
	新バイオテクノ	'ロジーテキストシリーズ遺伝子工学 第二版[	村山洋/安齋寛/大須賀久美子/飯田泰加	5/山村晃	講談社+	ナイエンテ	・イフィク			
その										
他										
ָי.										

科目名				学年	2						
講郎	币名	笈川 あずさ 南	岳宏	単位数	2	コマ数	45				
教科	目標										
実験の	化学的	概念を学ぶ。レポートとと	出席によって評価する。								
	1	オリエンテーション									
	2	器具、試薬、洗浄	·方法								
	3	濃度計算、溶液化									
	4	pHメーターの使し									
	5	食品のpHの測定									
	6	卵の鮮度測定									
	7	顕微鏡の使い方									
	8	肉、牛乳鮮度判定	Ē								
講	9	石鹸									
	10	微生物の培養1									
義	11	微生物の培養2									
	12	ゼラチンと寒天の	違い								
内	13	植物からのDNA	抽出								
	14	中和滴定									
容	15	酸化還元滴定									
	16	キレート滴定									
	17	無機イオンの分割	<u></u>								
	18	無機イオンの分割	<b>惟2</b>								
	19	溶存酸素(DO)の	測定								
	20	化学的酸素要求	量(COD)の測定								
	21	りん酸の測定									
	22	りん酸イオンの凝	集沈殿								
	23	へキサン抽出物の	の測定								
評価	方法	レポート、授業態度 他	Į.								
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。								
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	L=27.45					
評 価 基 準	評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	[いる。		立認定					
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。							
		F(59点以下または不合	ⅰ格):教科目標を達成すること:	ができな	かった。	1					
141		書籍名	著者名			発行所					
参考図書 が	バイオ実	験技術テキスト基本操作編			みつわ印刷						
考書 図 7											
書び											
-											

科目名		<u> </u>		<b>,                                    </b>	<u> </u>		一一		
				実習Ⅱ			学年	2	
講的		笈川 あずさ	大谷 理恵		単位数	1	コマ数	23	
教科	目標								
基本的	な実験を	上通して生命の仕組	且みを学ぶ。レオ	ポートと出席によって	評価する	0			
	1	ゲルろ過によ	るタンパク質	質の分離					
	2	SDSポリアクリ	ノルアミド電	気泳動1					
	3	SDSポリアクリ	ノルアミド電	気泳動2					
	4	アスピリンの	合成						
講	5	薄層クロマトク	グラフィー						
	6	ELISA法1							
義	7	ELISA法2							
	8	細胞培養の基	基礎1						
内	9	細胞培養の基	基礎2						
	10								
容	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価	方法	レポート、授業態原	度 他						
		A(90点以上):教	科目標を高い水	(準で達成している。	٦				
評	へ 新 G	B(80~89点):教	科目標達成にお	いて優れている。					
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教	科目標において	一定の水準に達して	こいる。	一 単位	立認定		
準	価 A	D(60~69点):教	科目標において	最低限の水準に達し	<b>している</b> 。				
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。								
		書籍名		著者名			発行所		
参教	バイオ実	験技術テキスト基本技	操作編			みつれ	つ印刷		
参考図書 教科書及び									
書なり									
O.									

科目	1名	環境分類学				学年
講自	币名	徳田 龍弘		単位数	1	コマ数
教科目標		めの採集、同定、標本作 かの知識を学ぶ。	作成方法など生物な	分類	技쉵	
	1	ガイダンス				
	2	生物一般				
	ფ	野菜と哺乳類				
	4	鳥類と両生類				
講	5	スケッチの進め方				
нгэ	6	爬虫類、魚類				
	7	昆虫、植物				
義	8	過去問題				
	9					
内	10					
	11					
_	12					
容	13					
	14					
	15					
	16					
評価	方法	試験によって評価する。				
		A(90点以上):教科目標を高		_		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成	において優れている。			224
其	評 P	C(70~79点):教科目標にお	いて一定の水準に達して	いる。		単
準	価 A 〜	D(60~69点):教科目標にお	いて最低限の水準に達し	ている	<b>5</b> 。	
		F(59点以下または不合格):	教科目標を達成すること: 	ができ	なか	った。
		書籍名	著者名			発行所
そ	生物	分類技能検定問題集3級・4級			自然環境	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>
ての						
他						

科目名		生命化学 I				学年	2	
講的	T名	母坪 研巳		単位数	1	コマ数	8	
教科	目標							
井海(-	トって仕	: 会利学のトピックスを学	<sup>や</sup> ぶ。試験によって評価する。					
<b>У</b> пі-	ж <i>у</i> с <u></u> .	.川バイナッパ こ ノンハご 」						
	1	単位とその表現						
	2	物質とその表現						
	3	実験器具						
	4	生化学における英語表現	₹					
講	5	細胞工学における英語表	₹現 					
舑	6	遺伝子工学における英語	表現					
義	7	簡単な文献講読						
我	8	まとめ						
内	9							
l, 1	10							
容	11							
ı	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
評価	方法	定期試験						
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。					
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		,,,,	. = = -		
評 価 基 準	評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		拉認定		
準	価 A )	D(60~69点):教科目村	票において最低限の水準に達し	<i>、</i> ている。				
	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。							
+/_		書籍名	著者名			発行所		
参考図書 教科書及び	新バイオ ズ <u>基礎</u>	テクノロジーテキストシリー バイオ英語	池北雅彦/田口速男		講談社+	ナイエンテ	・イフィク	
考書 図 型								
書び								
_								

科目名		生命化学Ⅱ						学年	2
講的	币名	母坪研巳 一克	⋾瑞枝	大石悦子	伊藤透	単位数	3	コマ数	23
教科	目標								
生命科	学のトピ	ックスを中心に質	学ぶ。中	級バイオ技	術者認定試験の合	格を目打	旨す		
				4 - 4					
	1	バイオテクノロ			当とまとめ				
	2	生化学の復習							
	3	微生物学の復							
	4	$分子生物学\sigma$	復習と	とまとめ					
講	5	遺伝子工学の							
舑	6	6 模擬試験							
義	7								
我	8								
内	9								
/ <u> </u>	10								
容	11								
台	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
評価	方法	定期試験							
		A(90点以上):教	<b>枚科目標</b>	標を高い水準	準で達成している。	٦			
評	( 新 G	B(80~89点): 孝	<b>枚科目標</b>	標達成におし	いて優れている。				
評 価 基 準	評 P	C(70~79点):教	<b></b>	票において-	-定の水準に達して	いる。	- 単位	立認定	
準	価 A	D(60~69点):教	<b>枚科目標</b>	票において最	曼低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下また	は不合	格):教科目	標を達成することだ	バできな	かった。		
1.0		書籍名			著者名			発行所	
参教科	中級バイス	<b>ナ</b> 技術者認定試験対策	問題集	日本バイ	<b>(</b> 才技術教育学	<del>'</del> 会	つちゃ	書店	
考書									
参考図書 教科書及び									

科目名			応用実習			学年	2
講的	币名	内藤 彩子 伊藤	透	単位数	1	コマ数	23
	教科目標 数生物学・遺伝子工学などに関する実験技術と論理的思考方法を習得する。レポートと出席により評^						
	1	微生物実習1					
	2	微生物実習2					
	3	微生物実習3					
	4	微生物実習4					
	5	微生物実習5					
	6	微生物実習6					
<del>=</del> #±	7	遺伝子実習1					
講	8	遺伝子実習2					
義	9	遺伝子実習3					
我	10	遺伝子実習4					
内	11	遺伝子実習5					
ויז	12	遺伝子実習6					
容	13						
п	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
評価	方法	レポート、授業態度 他	Į.				
		A(90点以上):教科目標	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目标	票達成において優れている。		., 77	L=9,4	
評 価 基 準	評P	C(70~79点):教科目标	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準	価 A )	D(60~69点):教科目标	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	1格):教科目標を達成すること	ができなが	かった。		
±/-		書籍名	著者名			発行所	
参科							
写書							
参考図書 教科書及び							
				T			

		<u> </u>	1 1 2	<b>J</b>		,,,,	
科目			生化学演習			学年	2
講郎	<b>市名</b>	大谷 理恵		単位数	1	コマ数	15
教科	目標						
ът w	a - T -		1_#	v == +: -=	.m — :		
生化字(	の項目(	<b>ル</b> 中でダンハク質と酵素	に焦点を当てて実際の実験で必	少安な原	埋と手)	<b>太を字ふ</b>	`
	1	オリエンテーション					
	2	酵素タンパク質の	)抽出方法				
	3	タンパク質の精製	<b>上</b> 溶解度分離				
	4	タンパク質の精製	<b>! クロマトグラフィー</b>				
講	5	酵素反応の測定					
	6	酵素反応速度論					
義	7						
	8						
内	9						
	10						
容	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価	方法	レポート、授業態度 他	ļ				
		A(90点以上):教科目标	票を高い水準で達成している。				
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れている。		724 t	ᅩᆖᇷᄼᅩ	
評 価 基 準	評P   価 A	C(70~79点):教科目	票において一定の水準に達して	いる。		立認定	
準		D(60~69点):教科目村	票において最低限の水準に達し	ている。			
		F(59点以下または不合	↑格):教科目標を達成することだ	ができなが	かった。		
+/_		書籍名	著者名			発行所	
参考図書							
考書 図ェ							
書び							
ſ							

¥1 E		八字甘琳丁				<u> </u>	
	目名 <del></del>	公害基礎 I		32 11 301	_	学年	- 1
	师名	南 岳宏		単位数	2	コマ数	15
教科目	標						
公害防	止管理	者国家試験取得のため	の基礎知識を習得すること				
	1	公害総論(オゾン	層問題、地球温暖化)				
	2	公害総論(大気)	<b>5</b> 染)				
	3	公害総論(水質)	5濁、土壌汚染)				
	4	公害総論(騒音・	振動、廃棄物問題)				
	5	水質概論(水質環	環境基準)				
講	6	水質概論(水質指	<b>旨標の種類、水質汚濁</b> の	の実態	)		
¥	7	水質概論 $(河川\sigma$	)環境)				
義	8	水質概論(湖沼、	海域の環境)				
内	9	汚水処理特論(物	物理化学処理①)				
[ [7]	10	汚水処理特論(物	物理化学処理②)				
容	11	汚水処理特論(物	物理化学処理③)				
	12	汚水処理特論(生	E物化学処理①)				
	13	汚水処理特論(生	E物化学処理②)				
	14	汚水処理特論(生	E物化学処理③)				
	15	まとめ					
評価	方法	試験と出席による					
		A(90点以上):教科目	票を高い水準で達成している。				
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目	票達成において優れている。		,,,,	L = 27 -	
評価基準	評 P	C(70~79点):教科目	標において一定の水準に達して	ている。		立認定	
準	│価 A │  ○	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合	合格): 教科目標を達成すること	ができな	かった。	)	
122		書籍名	著者名			発行所	
参科	公害防止攻略テキ	上管理者試験 水質関係 ・スト	青山 芳之		オーム	社	
考							
参考図書 教科書及び							
	-		-				

<	<b>&lt;20</b> <sup>-</sup>	8年度入学生 バイオテクノロジー	·学科	シラ	ラバス	.>	
科	目名	毒劇化学			学年	2	
講師名		神 和夫	単位数	2	コマ数	15	
教育	目標						
		る基礎的な化学の力を付けること。また毒劇物の取り扱いに関 物取扱者」試験合格に必要な力をつけること。	する法規制	制につい	て必要な	知識を	
	1	テキスト構成・講義の概要。「取締法」の目的、3. 基礎化学概説、化:	学のなりたち	5、物質 <i>0</i> .	)構成		
	2	テキスト「3.3.化学記号と化学反応式」、化学記号と化学式、化学結合	合と原子価、	化学当量	t		
	3	テキスト「3.3.化学記号と化学反応式」、化学反応の基本法則など、「	3.4.物質の物	犬態」、物	質の三態		
	4	テキスト「3.4.物質の状態」、気体・液体・固体の特性、状態変化、気体	本の性質、「	3.5.溶液」	、「3.6.化学	ዾ反応」	
	5	テキスト「3.7.酸と塩基」、「3.8.酸化と還元、「3.9.物質の性質と	元素の周其	月律 」			
講	6	テキスト「3.10.炭素化合物の化学」、テキスト「4.例題と解説」;	基礎化学園	関係の問	題		
羊	7	7 テキスト「3. 基礎化学概説」のまとめ、練習問題					
義	8 テキスト「2.特定毒物・毒物・劇物 解説」(その1)、特定毒物の品名、表示(着色)など						
内	9	テキスト「2.特定毒物・毒物・劇物 解説」(その2)、練習問題					
173	内       10       テキスト「1.毒物及び劇物取締法解説」(その1)						
容	11	テキスト「1.毒物及び劇物取締法解説」(その2)					
ı	12	テキスト「1.毒物及び劇物取締法解説」(その3)、練習問題					
	13	毒劇物取締法と基礎化学全般、総合問題(1)重要ポイントの	解説				
	14	毒劇物取締法と基礎化学全般、総合問題(2)重要ポイントの	解説				
	15	毒劇物取締法と基礎化学全般、総合問題(3)重要ポイントの	解説				

(講義の最初に前回の復習をし、テキスト全体の構成と進捗状況の確認をする)

評価	評価方法 新評価法によって		評価する				
	新評価(	A(90点以上):教和	4目標を高い水準で達成している。				
==		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
評価		C(70~79点):教和	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。 単位認定				
基準	G	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
华	P A	E:出席不足。					
	_	F(59点以下):教和	斗目標を達成することができなかった。				
		•					
		書籍名	著者名	発行所			
教	毒物及			発行所 薬務広報社			
		び劇物取締法解説					
科 書 及	最新毒	び劇物取締法解説	毒劇物安全性研究会編	薬務広報社			
科書及び	最新毒	び劇物取締法解説 物劇物取扱の手引 物試験問題集	毒劇物安全性研究会編 古賀 元 監修	薬務広報社 時事通信社			
科書及び	最新毒毒物劇物	び劇物取締法解説 物劇物取扱の手引 物試験問題集	毒劇物安全性研究会編 古賀 元 監修 毒劇物安全性研究会編	薬務広報社 時事通信社 薬務広報社			
科書及び参考	最新毒毒物劇物	び劇物取締法解説 物劇物取扱の手引 物試験問題集 録	毒劇物安全性研究会編 古賀 元 監修 毒劇物安全性研究会編 数研出版部編集	薬務広報社 時事通信社 薬務広報社 数研出版			
科書及び	最新毒毒物劇物	び劇物取締法解説 物劇物取扱の手引 物試験問題集 録	毒劇物安全性研究会編 古賀 元 監修 毒劇物安全性研究会編 数研出版部編集	薬務広報社 時事通信社 薬務広報社 数研出版			